發行所 東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會發行所●發行兼印刷人 山澤俊夫 ●編輯人 竹内貞三

愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(一日十五日)發行

明治四十三年十一月三日發行 November, 3th. 1910.

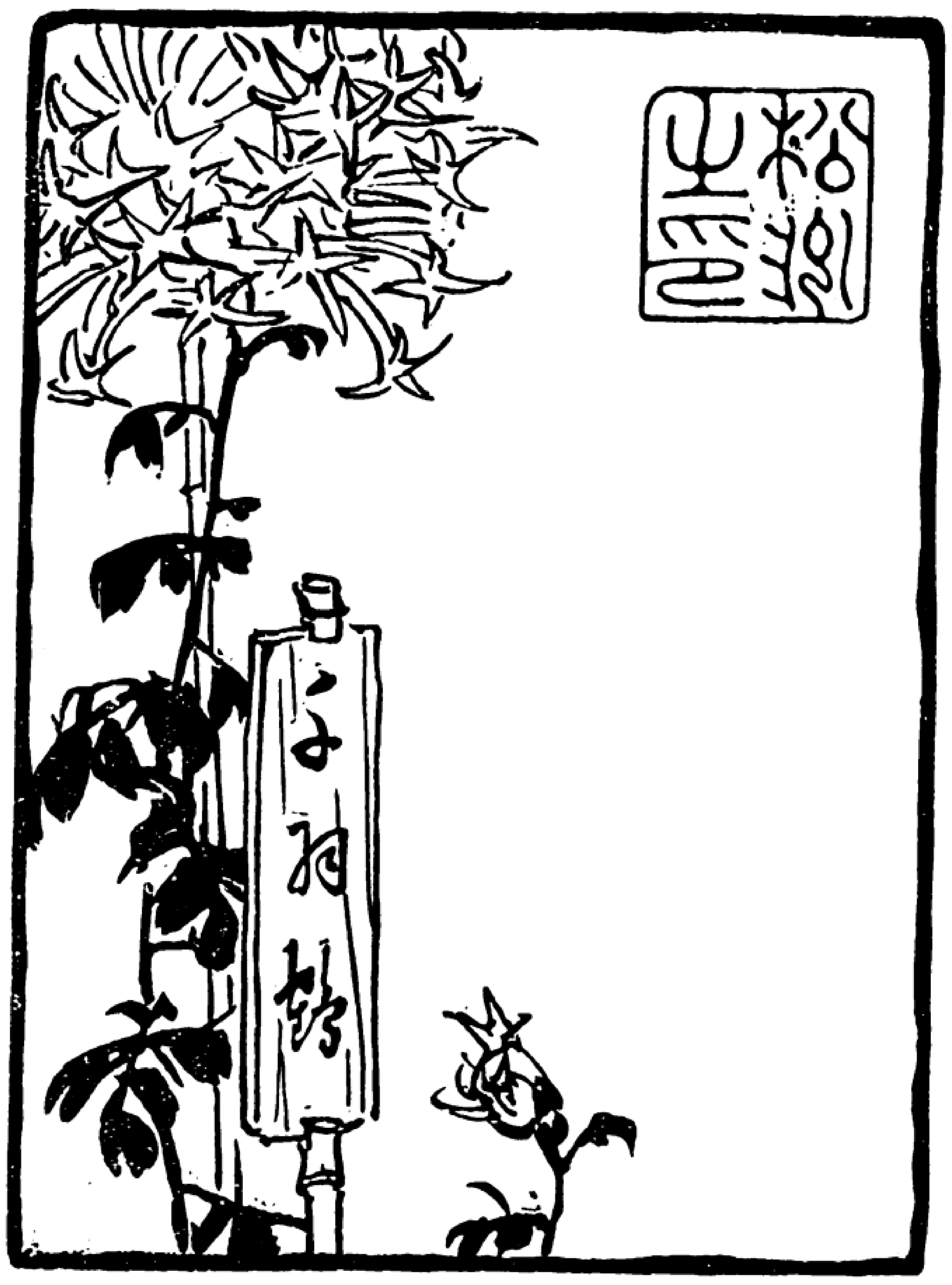
天長節

同胞既に五千萬を超え、國土亦三萬方里に及び、更らに新に韓國一萬方里を併合し、殊に締盟各國との國交は愈親睦を加ふるのみならず、國威は愈宇内に鬱悠し、恩澤普く翔泳を霑すの今日、茲に我聖上陛下第五十九回の佳辰を迎へて、感喜更らに新なるを覺えずんばあらず。

抑〻始めて天長節の佳を起し給ひしは光仁天皇の寶龜六年九月壬寅の日にして、爾來歳を經ること一千百四十餘年、其間時に盛衰あり、世に隆替ありと雖も億兆の此佳辰に會して聖上の威德を仰ぎ、寶祚の無窮を祝せざることは未だこれあらず、且つ明治維新の大業成り、我皇更らに古儀を復し、天長佳節の制を新にしたまひしより、こゝに四十有三年、此間に於ける帝國の飛躍、文化の發展、臣民幸福の增進はこゝに改めて言ふを待たざるところ、あゝ此國に生れ、此の秋に於て、此の佳辰に逢ふ、亦愈慶喜すべきを覺えずや。

あゝ天長の佳節、芳菊香を吐いて六街に普く、楓葉霜に飽いて山野に錦す、豐明殿裏饌を賜ふところ、萬國の使臣爭ふて壽を獻じ、鳳闕青山の野に武を閲したまふ時、玉塵輕く揚りて六軍馳す。

而して亦此の佳辰に會す、陛下の御稜威により日新の世運に逢ひ、感喜に堪へず、仍ち謹んで聖壽の萬歲と寶祚の無窮とを祝し奉る。



●日本婦人の活動を促す

(二)▲人口と飯米

今我が日本の人口は、ザット五千三百萬人で、其の内女子が大凡二千六百萬人あり、又毎年生れる人と、死ぬる人とを差引すれば、生れる方が六十四五萬人づつ多いから、追加率に依ると、是の後十年經つたならば、七八百萬人以上、百年過ぎると一億人以上殖えて、合計二億人に近い人口になり、其れに朝鮮の人口も殖えるから、今よりは確かに四五倍となりませう。

然るに、今日の國力はといふに、兵力は正しく世界で一番だが、富力は八大列強の中で下から一番、氣力も、世の開明に反對して、年々薄弱になりつゝあることは事實の上に現はれます。而して、又此の大數な國民の生命を繫ぐ重なる物は米ですが、其の米は何程生るかといふに毎年の平均があらまし四千四五百萬石であるから、一人前一年に八斗ばかりで、一ケ月六升六合、一日二合二勺程に當りますが、三歳兒四歳兒でも一日に二合は食ひます、哺乳兒は米を食はぬ代りに、母乳か牛乳を飲む。乳母は乳の出なかつた時の倍か、倍半は飯を食ふ、牛乳は米では無い代りに、米よりも價が高いから結局米を二人前以上食ふのと同じ事になります。

只幸なのは、麥粟稗黍豆芋等もあり、又國民中で一番多い農家の人は、米を多く食はぬから、我々のやうな三合扶持の小男にも御櫃が廻つて來る。けれども、五合から八合、一升飯を食ふ勞働者や、青年の人には足らぬ故、止むを得ず外國米を混せる。況して、中流以上の贅澤者は、三合でも足る代りに、米で造つた酒を飲み、菓子を食ふから、迚も足りませぬ。であるから、南支那や方々から外國米を輸入して金を取られる。人は年々殖えるけれども米は殖えぬ、何故かといふに、土地は人口のやうに追加率が無いからであります。

今度は又朝鮮が併合になつて、八萬二千方里の土地が殖えた代りに、千二百萬人餘りの人口も殖えて、加之に米が多く餘り穫りがないばかりでなく、是れまで田畑であつた土地も、汽車の線路や、會社の工場などに取り潰されて、減つた所も少なくはありませぬ。それに新しう開墾した田畑もあるが、地租やら所得税やら、農家に課ける租税の多い爲めに、十分の肥料を施したり、種子を改良したりする力もない。(つゞく)

本號主要目次

▼天長節
▼日本婦人の活動を促す(二)……海軍大佐 小笠原長生
▼日蓮上人の女性觀……女子高師教授 下田次郎
▼母と男と何れが偉いか……文學士
▼教育に關する勅語(一)……教育家 秦政次郎
▼時勢が要求する日本婦人の活動……海軍中將男爵 肝付兼行
▼家庭の改良(三)……高等商業學校長 寺田勇吉
▼美しいといふ心……女子大學教授 高島平三郎
▼箏曲評釋松の下風(十五)……京都大學講師 池邊義象
▼岩田帶は仕た方がよい●……醫學博士
▼九重編造花發明の苦心談……寺西秋子
▼外へ拾てゝ了ふよ……原胤昭
▼毛織物の洗ひ方(二)……高山毅
▼大根おろしと鹽湯での治療實驗談……千葉 松平淑子
▼房總の山川(一)
▼講談 勝田新左衞門(五席の二)……大島光利
▼其他懸賞和歌、俳句、日記等
▼初頁挿畫……齋藤松洲
▼挿畫及表紙意匠……岡落葉

●本紙(附錄共)二十ページ

●本號は特に慶祝の意を表する爲め天長佳節の當日を以て發刊す

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日蓮上人の女性觀

子爵 小笠原長生

日蓮上人の女性觀に就て話をせよとのことでありますが、此事に就ては、慥か本年の春、一寸一言お話を爲たことがあつたやうに思ふ。私は、元より宗教といふものに關しては全く門外漢であり、隨つて、實は日蓮上人の女性觀と謂ふやうなことを話す資格は無いのであるが、併し、かへつて宗教家以外のものが話をするのが、或る場合に於ては、寧ろ直覺的なることもあるかも知れないから、分際をも顧みずに自己の意見の大要を語るとしやう。

本文に入る前に先づ申して置きたいのは、日蓮上人が

『自分は何宗の流を汲むものでもなければ、何宗の祖師と仰がれたいといふ考も無い、謂はゞ佛陀の教を其儘に取り次ぐのみである。』

といふ意味のことを言はれ、又左樣確信して居られた事である。故に今日、日蓮宗として一宗派をなすは、蓋し上人の本意ではありますまい。

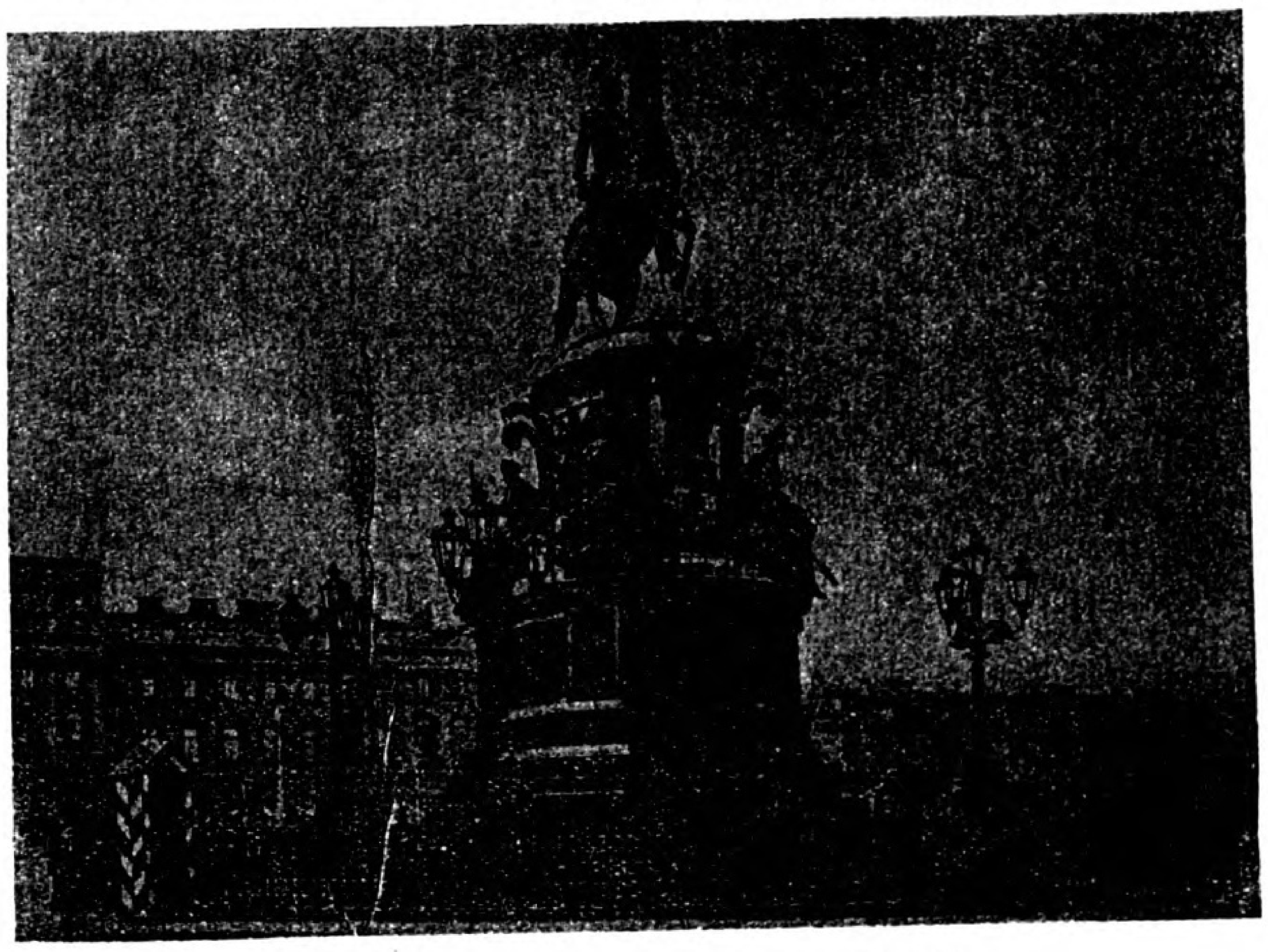
斯く、佛陀の眞の教を其儘に世間に示すといふのが、日蓮の觀念の基礎をなして居る。

然らば、上人は佛陀の本意は何處にあると認められたかといふに、申す迄もなく法華經をそれと見られたのである。故に、日蓮上人の女性觀を研究せんとするには、是非とも、先づ以て法華經に現はれたる女性觀よりするのが順序であると思ふのである。

一體法華經には種々の特色があるが、女性觀の妙旨は實に其の一つである。他の經文の多くは、女性の暗黑面(短所)を擧げて來て居るやうに思はれるが、法華經には光明の方面、換言すれば長所を啓發し示導して居る。

話が餘事に亘るけれども、獨り女性觀のみでなく凡て法華經主義と云ふのは、統一的觀念なのである。日蓮が我が帝國を以て世界を靈化するの使命あるものと解したのも、此の統一的思想が元をなして居るのである。

斯の如くなるを以て、法華經は理想と實際、出世間と世間、未來と現在、他力と自力等を融合一串し來つて居るし又從來幾多の經文に說かれたる宇宙觀、人生觀佛陀觀等を統一して居るのである。尙一步を進め云へば、現實なら現實でも、唯單に現實といふのではなくて、理想を貫いて來た現實である。即ち人生觀としては、唯單に人間は萬物の靈長であると斷定せず、一度人間以上或は以下の者に就て研究し（鳩の爲めに股の肉を割いたものゝ慈善功德といふやうな事を說いた經もあり、或は超人間のもの、即ち菩薩等を持つて來て、之れでなくては不可ぬ煩惱の多い人間は駄目だといふやうに說いた經もある。）さて、法華經に至つて、始めて人間本位に歸つて居るし、淨土にしても他方に之れを求めず、現世界即ち寂光土であると明し、人間世界を佛陀活動の基とし、のみならず、十方凡て統一さるべき通一佛土と見、かくて人生は光明のある、意氣のあるものと爲れて居る。



露國首都ペテルブルクのピーター大帝銅像

隨つて日蓮上人の主張は消極主義とか、厭世觀とか云ふやうなものは法華經を說くまでの途中の時代にあつたことで、實際此處に到達して了へば、佛教は全く積極主義、活動主義であると云ふのだ。

法華經の女性觀亦此の理に出でない。即ち從來の諸經に說かれたる暗黑面を貫き來つて、盛んに光明面が說かれてある。而して其の具體的に現はれて居るのは、提婆品中の龍女の成佛なので、之は文珠菩薩が海中に入り（海中とは生死の海の意であるとのことだ。）法華經を演說して、無量の衆生を敎化したが、其の中に幼稚な龍女もあつたと云ふて、此の少女を智も、定も、行も、具足せりと讃歎して居るが、是は實に全佛敎の女性觀の最後の斷定である。然るに、文珠の此の讃歎を聽聞して居た智積と云ふ菩薩や、舍利弗と云ふ釋迦の弟子は、從來の思想に囚はれて、女人を依然五障あるものとなし、會其所に現はれて來た龍女を詰問したのであるが、之に對する龍女の態度は著眼すべき大切の點なので、言論を以て智積や舍利弗と決して爭ふて居らない、直に成佛を實現して見せたのである。斯の如く事實を以て示されたから、最早爭ふ餘地はない。經に智積菩薩及び舍利弗一切の衆會默然として信受す、とあるが、此の默然として信受すと云ふ一句は、如何にも趣味ある書きかたで、智積等が閉口した有樣見るやうである。

此の論爭しないで、優しく實行して見せて、對手を感化すると云ふのが女性の本領かと思ふ。成る程、本質から云へば男性も女性も一つであるべき筈だが、實現の上から云へば、明瞭に區別がある。隨つて發展して以て世に盡すと云ふ方面も、自ら異つて居つて、兩性各々長所があるから、之を能く發展して、鳥の兩翼、車の兩輪の如く、相依り相助けて行つて、始めて理想的なる最善最美の風俗が現れ得る。之れが日蓮上人の女性觀かと思はれる。『富木尼鈔』では、

矢のはしるは弓のちから、雲のゆくことは龍のちから、男のしわざは女のちからなり。

と云ひ『品々供養鈔』には、

いはんや此は女房も男も共に御信用あり、鳥の二の羽そなはり車の二の輪かかれり何事が成せさるべき。

と說き『阿佛房鈔』には、

男は柱の如く女は桁の如し柱倒れなば桁地に墮ちなん。

と論じて居るを見ても、其の主張の存する所推知するに足るのである。

●男が偉いか女が偉いか

女子高等師範學校教授、文學士　下田次郎

左に揭ぐるは大日本女子敎育會に於ける講演の概要なり。

男と女と何方が偉いか、と云ふ問題を遠く溯つて考へて見ますると、女のみが勢力が強いのは下等動物界一般の現象であります。が、此狀態は鳥類あたりから段々に變つて來て、男の方が威力を振ふことになり、遂に人間社會に於けるが如く、女は男よりも劣つたもの、即ち男に從屬したものであると云ふやうな關係が出來て居ります。

併し昔人類の祖先が猿に近かつた時代には、此關係は全く顚倒して居つたもので、其の時代には未だ男子が生殖に必須ものと云ふ事が識られて居ず、何んでも兒を產む者、即ち血統を傳ふる女子のみが大切なものであるといふので、男子は殆んど生存の權利さへも認められなかつたのであります。其後漸く人間の智慧が開けて、兒を產むにも、男が與つて力があるといふことが解つて來ましてから、俄に男の權力が增して、從來後嗣は女に限つて居たものが男でも差支ないといふ事になり、遂に腕力の勝つた男子の方が勝つて來て、婦人の服從といふことが出來て來ました。其中に更らに文明の度が進むと共に、又も婦人の權利が主張さるゝやうになつて來ましたが、尙從前の惰力を脫することが出來ず、印度などでは、十三四歲で寡婦になつたものが、一生其儘で通さればならぬ、と云ふやうな氣の毒な有樣が現存します。又文明國に於ても、フレデリック大王の如きは、大の男尊女卑黨で、女は家を守つて居さへすれば可い、と云ふて、往來を步いて居る婦人を見かけた時には、杖を振上げて家の中へ追込んだと云ふやうな話もある位で、今でも獨逸では女は男子に從屬すべき者であると云ふやうな狀態にあるのです。

併し、此等は皆從來の歷史的惰力に囚はれて居る見解で、女子を理想的に敎育爲たら何處まで發達するかと云ふことは、目下試驗中であつて、未だ何人にも解らないのであります。要するに、餘り窮屈な見解て棄てゝ、婦人の開放でも、從屬でもなんでもよいから、生理的天然の約束に外れない限り、種々のことを行つて見るが可いと思ふのである。

●『婦人と工業』　記事の都合により本號だけ休揭

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育に關する勅語（一）

秦政二郎謹解

明治二十三年十月三十日に御煥發になつた勅語は（昨三十日はその第二十年に相當す）國民の教育を主にして御教諭遊ばされたから、世に教育勅語と稱へ奉つて、學校の式日に捧讀したり、修身教科書の第一に其の御趣意を説示たりして居ますが、元來右の勅語は、先づ開國の事から、國體の精華教育の淵源、幷に平常と非常の時との國民の心得方までを聖訓させられた、大切な勅語であるから、只學校ばかりで奉體したのでは相濟みませぬ。

それ故、此の勅語の聖旨は、必ず國民の家庭に普及して、一人でも服膺て居らぬ者の無い樣にし、又兒童の在る家では、始終直接に其の兒童を保護する母親からして、克く〱此の聖旨を詳知して、兒童が折々學校で聞いて來るのを補ひ敎へながら、一家團欒て共に實行ふやうにしたいと思ひます。

右の希望から、著者は一昨年、一德會長高崎正風男と相談して、一冊の奉釋を發行しましたが、未だ小版な頒布しただけでありますから、迚も全國に普及する事は得きませぬ　然りとて、一家に一本づゝ進呈て、誦んで貰ふやうな資力もありませぬから、今回愛國婦人の主事八田一精氏の御依賴み幸ひに　數號の紙上に分けて、記述する事としました

但し、著者は固より淺學ですから　聖旨の萬一をも奉察ふ事は能きませぬが、幸ひ全國婦人中の主なる愛國婦人會員の各位に、先づ本紙の一片を藉つて、貴覽に供へますから、各位には成るべく之を兒童訓育の一助とし、猶又會員でない相識の婦人方にも勸められんことを切望めます（明治四十三年十月三十日）

◎第一段第一節

朕惟フニ、我ガ皇祖皇宗、國ヲ肇ムルコト宏遠ニ、德ヲ樹ツルコト深厚ナリ。

（◎朕とは、我れと同じことで、天子に限つて仰せられる語◎惟フニとは、考へて見るに同じ◎皇祖皇宗とは、皇室の御先祖たる天照大神を始め奉り神武天皇以下今上陛下の御祖宗◎國ヲ肇ムルコト宏遠とは、皇祖皇宗の君たちが、此の日本國を開き始められたことは、宏大無邊に、限りなく、遠く、連綿くやうにと遊ばされた事情◎德ヲ樹ツルコト深厚ナリとは、有らゆる國民が安穩に生活の得るやうに、種々と御經營遊ばされ、猶又四方の外國までも同仁させられて、其の恩德天下に普いた事。）

と仰せられたのは、皇祖天照大神が、伊弉諾尊、伊弉冊尊、たちの神業を承けさせられて、細大に肇國の御經綸遊ばされた事や、神武天皇を始め奉り、歷朝の烈聖が全國を平治めさせられたので、吾人の祖先から吾人まで、安樂に生活されるやうになつた、其の御國開きと御恩德との宏大にして、限りなき事を勅示になつたのであらうと察し奉る。

今謹んで大神が此の天下を開肇めるに就て、御經營遊ばされた一斑を伺ひ奉るに、陸土は人跡馬蹄の行かるゝ限り、廣く遠きまで開き通じ、深山幽谷までも跋み涉りて、狹い所は廣め、海上は船舶の航通り行かるゝ限り、常に棹柁絶たず往き廻りて、遠い外國をも綱手にて引き寄するやうに、自然と懷き親しませ、蔭に生えた草木が日向に嚮ふと同じ狀に仁愛ませられ　又歷朝の天皇陛下にも、此の通りの方針にせられよと、皇孫尊に勅諚せられた事は、祈年祭の詔詞に遺つて居ります　特に大神は、國民が食うて生くべき穀物や、寒暑を凌ぐべき衣服の料を、宇迦廼賣神が發製られたのを御採納になり　又雨風に堪へられる住居の事などをも敎示させられ　猶又三德を以て下を治めらるゝやうにと、三種の神器を皇孫に授けられ

神武天皇は良民に害する兇徒を平らげて、國民の職業を定めさせられ、兆億その堵に平住て居られるやう組織下されたから　歷朝の天皇にも、池溝を穿らせられたり、林木を栽ゑさせられたり、或は農業や工業を勸めさせられたり、或は貧民を助け、病者を救ひなどせられた　其の恩德の厚い深いことは、中々口でも筆でも申し上げる事が出來ませぬ　玆に祈年祭詔詞の一節を記して、太古の神代から、既う宇内を平和に整理て、内の外のといふやうな差別なく、仁愛ませられる御方針である事を證しませう

皇大御神
見霽志座
須　四方國
者　天能
壁立極
國能退立
極　靑雲
能靄　極
白雲能墜
座向伏限
靑海原者
棹柁不干
舟艫能至
留極
大海爾舟
滿都々氣
自陸往道
者荷緒結
堅磐根木根履佐久彌　馬爪能至留限
長道無間久立都々氣氏狹國者廣久峻
國者平久遠國者八十綱打掛氏引寄如
事　皇大御神能寄奉玉閉者云云（續）

時勢が要求する國民の急務

海軍中將男爵　肝付兼行

世の中には爲めになることゝ、爲めにならぬ事とがある。爲めになることに向つて働くことは實に大切な事であるが、さして爲めにもならぬ事に骨を折るのは愚な次第である。私は常に『時勢』といふ詞を用ゐる、即ち時勢に適應しない仕事は爲めにならぬ仕事で、之れに適應した仕事こそ世の爲めにもなり、國家の爲めにもなるべき仕事である。何でも仕事をなすのには、第一にこの時勢に適ふや否やと云ふことに目を着けねばならぬ。

さて國にとつて一番大切なものは何であらうかと云ふに、武力である。この武力が乏しかつたならば國として一日も安心が出來ぬ。日本國は一等國に列した、何うして一等國になり得たかと云ふに、申迄もない三十七八年戰爭の結果即ち武力の結果である。故に國を興すも武力、又國を亡すも武力、所謂國家の要は武力を旺ならしむる事にあると言て宜い。

さて斯く武力の養成は大切であるけれども如何に武力が養はれても、富の力を借らぬと十分に之れを發揮することが出來ぬ、といふ場合が多い。そこで富の力、即ち富力が必要になつてくる。

今日本の富力は各國に比して如何なる程度にあるかと申すと、先づ其國の貿易高について見るに、矢張一番多いのが英國で、一年に百八十億萬圓の商賣をする、然るに我國では約九億萬圓しかない。英國の現在の海軍は約百五十萬の噸數を持つて居るのに對して、日本は先づ約その三分の一の五十萬噸を持つて居るが、富力では右の如く十九分の一位にしか相當して居らぬ。實に情ないことである。

日本の一番の缺點はこの貧乏なことである。學問の研究、固より必要であるが、富をつくる事、これが今日の最大急務だと信ずる。且つ又前にも云つたやうに、日本は今や一等國である。世界の東の方に獨立した一軒の店を開いたのだ、既に一軒の店である、隣店や向ふの店に對して相當の交際も要るが、第一に財産がなければ店は保つて行けぬ。

直きに閉店しなければならぬ事になる。けれども此店は折角出來たので、吾吾店員が何としても閉店させることは出來ぬ、一生懸命に店を維持して行くだけの財産を作らねばならぬのである。

さて然らば富はどうして得られるか、懷手して居ては金持になれぬ。各人が心を合せて働くといふ事より外はない。もと國家は幾多の家庭の集合で、家庭は各個人の集合である。故に各人の富はやがて國家の富となるので、先づ各人がそれぞれ働いて己れの富を作らねばならぬ。然るに日本といふ國は、とかく富を卑しむ風習がある、金を持つことは下品なことだといふ大なる考違をして居た。これがそも〱日本の貧乏する所以である。今益々富みつゝある米國の如きは、十歳の童子が尚且つ自ら市に出て新聞を賣り、使歩きをして働く、しかも富裕なる家の兒がこれである。畢竟自ら働いて自ら富を作るといふ思想が、十分に幼少から養はれて居るので、この點は大に學ばねばならぬことゝ思ふ。その思想が肝要である。

かやうに考へて見ると、富力を作るといふ事が、實に我國の最大急務であります。私は一つ俗謠を紹介しやう。

國は武で持つ武は富で持つ
日本帝國海でもつ

（談話要領）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會の 朝鮮觀光貴婦人歡迎

◉新橋停車場の歡迎　去月二十二日本國を發したる朝鮮貴婦人團二十四名は同二十四日に出發の貴族團と二十五日下の關にて會合し同地春帆樓、安藝の宮島、名古屋市などを見物し到る所にて大歡迎を受け、去る二十九日午後五時四十五分新橋着列車にて入京したるが本會よりは阿部副長其他理事、評議員諸氏、東京支部長其他同支部評議員、主任幹事、幹事等約五十名新橋驛構內プラットホームに於て一行を迎へられたり、一行中の貴婦人は長途の旅行に少しも疲勞の樣子なく紫黄白、濃淡色美しき朝鮮服を着け欣々然として歩まる、姿麗はしかりき。因に當日着京の觀光團員は孰れも舊李朝に於て錚々たる名流の縉紳淑女のみなるは云ふまでもなく、主なる人々の姓名左の如し。

△男子側　侯爵李海昇、伯爵李址鎔、勳一等李埈鎔、伯爵閔泳璘、子爵朴齊純、同李容植、同李琦鎔、男爵李載克、同金宗漢、同朴箕陽、贊議金榮漢、副贊議徐相勛、同許進、同高源植、閔宗植、李完用令息李恒九以下

△婦人側　伯爵李址鎔夫人、同李完用夫人、李完用長子李恒九夫人、勳一等李埈鎔夫人、子爵趙重應母堂、子爵趙民熙夫人、男爵李載克夫人、故徐正淳令嬢、昌德宮女官、尹明雲、同張成遠、同金允俊、德壽宮、同嚴淸一、同李彰眷、同韓德順

◉華族會館の午餐會　又本會に於ては去る三十一日是等觀光貴婦人を華族會館に招待して午餐會を開きたるが、當日は特に本會總裁閑院宮妃殿下及梨本宮妃殿下、伏見若宮妃殿下の三殿下御台臨あり、本會よりは岡部會長、阿部副會長、此外理事、評議員、顧問、東京支部長よりは阿部岡支部長及副長、顧問、評議員、主任幹事、幹事部長等出席せられ餘興等の催あり非常の盛況なりき。

▲松平顧問の樞密院顧問官親任

明治三十七年十月十日本會顧問囑託以來本會の爲めに熱誠を注がるゝ男爵松平正直氏は今回樞密院顧問官に任せられ去る十四日宮中に於て其の親任式を執行はれたり。

▲愛國婦人會山形支部の故奥村五百子刀自追悼會

去月廿二日午後一時より七日町專稱寺に於て愛國婦人會主唱者奥村五百子刀自の追悼會を營み市內の戰死者遺族並に癈兵を招待し午後二時よりは堤鳳麟師の法話說敎等あり、遺族及癈兵には供物の紅白餅及菓子折を呈し會員來會者には紅白餅を分與したり、因に奥村女史は生存中會務擴張の爲三回まで來形せる緣故あるなり。

家庭の改良(三)

精華學校長　寺田勇吉

◉家庭敎師に就て

頃日、我國では家庭敎師を傭ふことが流行するが、小兒等の澤山有る家では、母親も多忙であつて、十分小兒の敎育に力を盡すことが出來ぬ、殊に近來は日本の婦人にも漸次社會事業に從事すると云ふやうな傾向の爲めに、外出することが多くなつて、唯家庭內の務めのみに從事する事を許さぬ、と云ふ時代になつて來た、斯の樣な家では、止むを得ず家庭敎師を傭つて家庭の敎育を補はねばならぬ。勿論、獨逸あたりにも家庭敎師があつて、夫れには概二つの種別がある。一は敎育あり、亦相當の敎育免許狀を有つて居る婦人に小兒の家庭敎育の一切を依託する事である。此の家庭敎師は、母親の補助であるから、重要なる事柄に付ては母親と協議をして後敎育に從事することは申すまでもない。又其の扱ひ方は、決して一家の傭人と云ふのではなくて、家族と同一の待遇を受けて居るのである。又此家庭敎師には、通勤して居る人もあり、平素其家に宿泊て居る人もある。それで小兒が家に居る間の敎育の全權は此敎師に與へてあるので、從つて家庭敎師は屢學校に行つて、自己の依託を受けて居る小兒の成績、操行等を取調べ、敎師とも始終打合せをして、常に小兒の發達を計つて居る。

我國では家庭敎師とは云ふものゝ、多くは獨逸の所謂家庭敎師とは性質が異つて、家庭敎師では無くて、學科の復習敎師である。即ち小兒が學校から歸つた時分に、大學の學生であるとか、高等學校の書生であるとか云ふ頭の人に賴んで、學科の復習をさせるので、學科の爲めには、勿論多少の利益はあるけれども、精神敎育の點から見れば、其の利益は極めて尠い。又其待遇の如きも、恰も一個の傭人の如くであつて、小兒も亦之れを先生視して居らず、只傭人に物を習ふ、と云ふやうな感を持つて居る。余は斯の如き家庭敎師は全然不必要と思ふのである。蓋し小學校の生徒には敎師を傭つて學科の復習をさせる必要は無い、唯上級生には學校から多少の復習を命ずるので夫れを小兒自身にやらせるやうに母親が監督すれば良いのである。精神的敎育に有害ではあつても、有益でない書生等を傭つて復習をさせると云ふ事は寧ろ止めた方がよいのである。尤も獨逸に於ても、大學の學生などを同居させて、小兒に多少學科を復習を爲せる、と云ふことの例が無いではないが、之れは多く年長の小兒で、又殊に成績が惡いと云ふやうな小兒の爲めに行はれる事で、此類の事極めて稀である。(つゞく)

美しいといふ心

女子大學敎授　高島平三郎

◉昔恁ふ云ふ話があつた。昔の女は朝早くから芝居を見に行く、すると往來に居る雲助が、彼の女は必然芝居に行くのである、と云つて駕を勸める、それは何故かと云ふと、其女の首は芝居を見る爲めに、もう前の方へ一尺も突き出て居たからだと云ふ、之は面白い話である。が、又外の例をとると、女は薩摩芋が好きだといふ、然し一日休みなしに薩摩芋を食つて居る事は出來ない、一日と云はず一時間も續けられぬ、之れに反し芝居は衆と共に樂んで永く續けることが出來、また日が過ぎてもその樂を思ひ出すことが出來る。美情はかく永續的で偕樂的でなくてはならぬ。

◉大略吾々の世界に美觀とすべきものは澤山にあつて、吾々の感覺に上るものだけでも約五萬許りある。其中四萬許りは目と耳から傳はる。一の光の中にも、その數は七百からある。色は幾萬となくある。是等は皆吾々の心に映つて美の情となるのである。それで美の要素には材料(感覺)、形式(知覺)、思想(聯合)が揃はなくてはならぬ事となる。形式といふのは一の瀨戸物は樂器でない、然も之を敲けば美妙な音を發するのを云ふのである。支那人は銀といふ字と、金といふ字を選ぶに其音から考へついたのだといふ、即ち銀はギン〱〱と鳴り、金はキン〱〱と鳴るといふのである。樂器でないがさう云ふ音を發するのは、即ち人の美情となる要素である。それから人は曲線美と云ふが、これは曲線が形の自由を思はしめるからで、此點から考へれば、美の形式といふのは運動と音樂とに具つて居るといふ事は出來るのである

◉美の要素は前述の通り感覺から來る一つ一つの材料が聯合してなるので、其聯合は普通に云ふ組合せ若しくば釣合である。例之田舍の女が髮の結方だけ東京の風を眞似るとする、又は田舍の景色畫に藝者や半玉の形を描くとする。それでは釣合が取れぬ。女が身體の裝飾をするのも然うである。色の黑い者が白いものづくめの風采をしては釣合が取れぬ。髮は綺麗に結うて居ても冷飯草履を穿いて居ては釣合にならぬ。此の道理から推せば、不美人が美人となる事は出來なくとも、人に快感を與へることは出來るのである。即ち髮と衣服と、その品と色合との釣合、組合せを良くすれば不美人だからとて決して嘆くには及ばぬ。然も亦其の釣合を良くするには、啻に身體容貌の裝飾許りではなく、若し其人が高尙な作りをしたらば、其人は品性が高尙であるといふ事が出來る。

(「趣味の心理」と題し流行會講演會席上講演の一節)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（禁轉載）

（十六）◉末の松

京都大學講師　池邊義象

（一）末の松山なみこすとも、かはらぬ色は松かえに、君かちとせの限なき、みきはの池に龜あそぶ。

古今集なる『君をおきてあたし心をわがもたは末の松山波もこえなむ』なといふ古歌の心にて書き出せり。末の松山は奥州の名所にて、海邊にありて、波のこすへく見えてこさぬ山とかや、その山をよし波のこすことはありても、われは易らじといふなり、君が千年のかぎりなき色を松が枝に契り、その松のかけさす池の汀に、萬年の齢をたもつ龜遊ぶといはるなり。

（二）身にしみわたる秋のころ、月もくまなきねやのとに、かへるさつぐるくだかけの、まだきになくそうらめしき。

身にしみわたる云々、秋の夜の膚さむく月のさえゆくさまなり。閨の戸に暁告る鷄聲に、はやくもきぬ〳〵のわかれとなるが恨めしきとなり、伊勢物語の『夜もあけはきつにはめなてくだかけのまたきになきてせなをやりつる』の歌おもひ合せらる。

（三）なか〳〵にいまはたゝ、思ひたえなむとはかりを、人つてならでいふよしも、あらでこがるゝ身ぞつらき。

後拾遺集に、

伊勢の西宮わたりよりのぼりて侍りける人に、しのひておよひけること、おほやけきこしめし、まもり女なとつけられければ、しのひにもかよはすなりにければよみ侍りける

いまはたゞおもひたえなむとはかりを
人つてならでいふよしもかな　左京大夫道雅

とあるによれり。思の切にして、まゝならぬさまなり。

（四）しのぶ山〳〵、あはれしのぶの道もかな、人のこゝろのおくまでも、見でやみなむわがおもひ。

伊勢物語に、

しのぶ山しのひてかよふ道もかな
人のこゝろのおくも見るへく

とあるによれり。しのぶ山は奥州の名所なり。それによりて、人のこゝろの奥とはいへるなり。信夫山々々〳〵、あはれ忍ぶとかさねかけたる云ひさまおもしろし。

（五）さよ千鳥夜もすがら、なくはわれをとふやらむ、すまのすまゐのものうきに、涙そそふる聲々。

この段は須磨の巻を本としたるなるべし。千鳥の夜すから鳴くを、我を訪ふにやときゝなして、みづからあはれをそふるなり。げに物うきときは、風の音もわが爲ときゝなさるゝものなり。

（六）契りきな、かたみに袖をしぼりつゝ、末の松山なみこさしとは、いかにいひけむ、あたになりしうらみかや。

これも後撰集清原元輔の歌と、前々にひきし古今集の『君をおきて』との歌とをもてつくりなせり。さはかり誓ひを立てゝ、互に袖さへぬらしつゝ、契りかはしゝに、心の變れるか恨めしといへるなり。人心の頼みかたさをかこてるなり。

この一組は、初に君が代の易らぬことをいはひいひて、末の松山をいひ出し、さて轉して戀の情にうつりて、思ひのまゝならぬことをくりかへし、人をうらみ、我をかこち、終に仇になりしうらみことを、元輔の歌を主としてむすべり。げに戀にはする人こゝろはかくこそありけめ。

通俗 齒牙養生法（廣告）

齒科醫 動六等 楢崎東陽先生述

◉乳齒の保護。乳齒は生後大略七八箇月より三十箇月にして調へ又六歳頃より十二三歳迄に永久齒と交換を終るべき者なり。されど其乳齒の此が期間。一度齲齒に罹れば。大いに身體の發育を妨け。爲めに種々の疾患を誘起するのみならず交換期に至るも乳齒腐蝕の爲め永久齒をして正しき位置に發生せしむる事能はず爲めに亂排せしむる憂ひあり。若し永久齒亂排すれば。天賦の美を傷ひ而已ならず。掃除を十分になす事能はざるが故に永久齒も隨つて齲齒等に罹り易し。故に乳齒の時に能く注意し。掃除を怠らず。傍ら時々齒科醫の診察を請け。若し齲齒あらば速かに治療を加へ。又永久齒との交換期迫れば。相當の手術を受け。終生の不幸を避けしめざるべからず。

◉齲齒の事。齲齒は社會生活程度の高まると歩調を同ふする者の如く近來益々此病の多きを見るに至る。然に世人往々此れを看るに。局處の疾患なりとして。意に留ず。輕々看過するの習慣あり。何ぞ謬れるの甚だしきや。抑も齲齒は胃腸直接の關係物にして。隨て身體の健康を害し、或は腦を惱し。或は心身を不快に陷らしむ。誠に怖ざる可らず。此れが豫防法は種々ありと雖。先づ掃除の完全と。食物の撰擇等とを以て主なる者とす。掃除は毎朝起床後は勿論毎食後、及び就床前齒刷子を精密に使用し。齒間に食物の殘留なからしむるにあり。此れ第一の要にして。第二は食物中過度の硬固物の咀嚼を避け。以て珐瑯質を損ざらしむるにあり。然ども。吾人の食物中には。啻に柔軟なる物質而已にして。十分なる營養を得ものに非ず。故に硬固の食物も滋養ある物は時として食すべきの必用なきにあらず。されば能く過度の硬固質物のみを避け能く注意して用ゆれば珐瑯質を損なざるのみならず。齒牙、並に齒牙を抱圍せる骨をして、健固ならしむるの効力あり、若し又不幸にして齲齒發生せる時は、速かに齒科醫に就き相當の治療を受ざるべからず。齲齒の爲に續發する恐るべき疾患は實に多々あり、世人宜しく豫め防ぎて大事に及ばざる樣注意すべし。

◉齒刷子と齒磨粉 齒刷子は毛製と護謨製の二種あれども必ず毛製を用ゆべし。毛製中又種々の品あるも。毛は軟硬中性を撰び。總て品質の善良なる物を使用すべし。其使用法は少量の齒磨粉を附け。外側は總て齒の縱に用ひ。齟齒の內側は縱に用る事能わざるが故に横に用ひ。能く內外並に咀嚼面を注意して使用すべし。彼の日本流の房楊子は決して使用すべからず。又た齒磨粉は十分注意せんすば在る可からず。粗惡の品を用ゆる時は齒牙を損ずる事甚だしく却て害あるも益なし。最近我國に於ける齒磨は種々あるも調和最も宜しきを得たるものは東京帝國大學教授丹波藥學博士方劑のばら齒磨の右に出る者なし。ばら齒磨の粉末は普通ありふれの齒磨と其撰を異にし硬柔の中性其度を得、偉大なる殺菌消毒の効力を有すると同時に齒牙天然の光澤を現出せしむ同齒磨は啻に齒牙保全のみならず齒齦を健固にし口腔內の惡臭を除去し身心をして爽快ならしむる等甚だ見るべきも多し。

丹波博士方劑 ばら齒磨（はみがき）

袋入。箱入共に御便利なれ共大袋入は御多人數の御家庭用として頗る御徳用なり鏡付鑵入は旅行携帶に便也

本舖 東京市神田區久右衛門町 東光園 電話浪花五五一五番

全國到る處の小間物化粧品雜貨藥店にあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

岩田帶はした方がよい

醫學博士　榊順次郎氏談

岩田帶や結肌帶は、是非しなくてはならぬものかといふことは、毎度尋ねられることです。

岩田帶といふものは、一つは儀式のためにするもので、醫學上からいつて、姙婦が是非しなくてはならぬ、と云ふ程のものではありません。併し、姙婦の腹部を適當な幅の布で卷いて置くことは必要です。尤も、初産の人は、腹壁がしまつて居ますから、さほど必要はありません、けれども、幾度もお産をした人は、腹壁が緩んで居ますから、腹帶をする必要があります。かうして腹帶をして置くと、胎兒の位置も變りませんし、また立働くにも便利です。

また、姙娠すると、腹部が前に突出して、下腹部から下は着物が身體に密着しません。ですから寒い時分は、初めてお産をした人でも、幾度もお産をした人でも、身體の冷えないやうに、腹帶をして置かなければなりません。

儀式と云ふことからいつても、儀式は社會の秩序を保つに缺くべからざるものですから、やはり岩田帶をした方がよいと思ひます。

又岩田帶は、地方によつて違ひますが、大抵六尺位の紅と白の木綿を四ツに疊んで腹に卷きます。しかし、衞生上からいへば、なるべく幅が廣くて、彈力のある布がよい、例へばフランネルなどが最も適當して居ます。

西洋には、チヤンと極つた形の腹帶があります。西洋人は平素コルセットを用ゐてゐるため、子宮が下腹部の前の方に垂れて居ます。それで、姙娠すると腹部を下から支へ上げる必要があるからです。けれども、日本の婦人には、さういふことがありませんから、たゞ廣い帶を卷くだけでよいのです。

初産の人は、少し位遲れてもよいが、幾度もお産をした人は、少し眼立つやうになつたら、直に腹帶をしなければなりません。

儀式的にする岩田帶は、五ヶ月目にする所もあり、七ヶ月目にする所もあり、又月にかゝはらず十二支の日を選んでする所もあります。やはりその地方々々の習慣や家風に從つた方がよいのです。

また岩田帶は、大抵戌の日を選んでするやうです。これは昔からの儀式か、或は迷信から來たのでせう。もとより戌の日にしなければならぬといふ譯はありません、けれども、姙婦が物事を氣にする方であつたら、安心させるやうに、戌の日にした方がよいでせう。

●九重編造花

發明の苦心

寺西綠子

別段お噺する程の事も御座いませんが、妾は山口縣の厚狹郡と申す誠に草深き田舍に生れました、兩親は至て嚴格な方ですが取分け母は嚴しう御座いました、

妾が未だやう〳〵學校へ參り初めました頃から女は嫁して子供の五人位は手一つで養育し、又如何なる境遇に接しても生活する覺悟と、むだな時間を費さぬと云ふ事が大事なことであるから幼少の時に其習慣を付て置かねばならぬと申て、家事の手傳や兄弟の世話等言付られまして、遊ぶ時間などは少しも與へられませんでした、こんな具合で育てられましたから、近邊の子供の群に入て遊ぶことなどが嫌で始終母の手許で何かしら手傳を致して居りました、祭日などに少しの暇を與へられますと、人さんのものを拜見して出來もしないに拵へて見ると云ふ樣に、小兒の時分から物の工風をするのが好きでした。

學校は其頃山口の町に毛利高等女學校と、舟木と云ふ處に德基女學校と申て矢張毛利家で設立された學校とがありましたが、當時兩親の意見で入學を許されませんで附近にありました山本先生の門に入りまして種々手藝を習得いたしました、妾は性來物に熱心する質で其頃縣で非常に養蠶を奬勵されましたことが御座いまして、各郡に郡立の傳習所が開かれましたとき選ばれて參り二ヶ年で卒へ暫らく敎鞭を取つて居りましたが、矢張り好きのせいか種々研究致しました。

造花です。妾は子供の時から生花を愛しまして花さへあれば摘み取りて一々蕋や蕚などの數を調べたり、葉が對生に付て居るとか、互生だとか申ことを調べますのを何よりも樂みに致して居りましたが、不圖感ずる事がありまして兩親に乞ふて東都遊學の許を得ました、其頃恰度叔母が此方に居りましたから、叔母の許で種々の研究をいたして居ります內寺西に嫁しましたが、間もなく主人が會社を辭されました、この時初めて母の言を悟りましてこの事を致す樣になりましたが、家庭は至て圓滿で御座いますし妾がこの事業を創始ましてからは舅姑も手傳はれますし生徒も相當に有りました、種々の方の出入もありまして其內或る商人が參り他方では未だ見受けた事のない造花であるから、實用新案登錄を出願した方が良いと申て大變勸められましたが、妾の趣旨はなるべく世に弘く行はるゝ樣に致したいと云ふ考へですから、心よく承諾は致しませんでしたが早く世に擴まるものならばと存じまして勸められた儘に出願致しました處が直ぐ特許になりました、其後一ヶ年餘りも經過しまして或る學校から攻擊を受けましたが妾も敎授上特許品であると云ふので尠ながらぬ不便を感じて居りましたものですから潔よく特許を解きました、が妾の考へでは世運の進步に伴ひまして女學の隆興を促がし手藝の發展を來すと云ふは自然の趨勢であらうと存じます、まして敎職の身で發明者の甲乙を云々して爭ふ場合でなく先輩者は却て之を保護し相謀つて益々斯界の發展を圖り拙ない處は改善に改善を加へて、日本婦人天與の手藝を發揮することに努められた方がましではあるまいかと思はれました、當時妾が斯道の研究に付ては少なからぬ私財を投じたのと、一家の和合協力と、不屈不撓の精神を以て晝夜研讃の結果、未熟ながらも各位の御賞讃を受ける樣になつたので御座います。

過る四十年九重編造花法と稱へまして著書を地史編纂所と申處から發行致しましたが、其後猶研究を重ねまして翌四十一年更に和洋花卉百種を撰んで、(松、梅、櫻、菊、蘭)の五卷に分ち其の卷頭に毛利公爵御母堂、三井男爵夫人、遠山女史よりは題歌。土方伯爵の題字。青木子爵夫人、松村理學博士、濱視學、棚橋女史、山脇女史等の方々よりは序文を頂きました尚ほ此外に井上蘭崖畵伯の丹青を煩した圖譜を添へまして國光社より發行致しまして望外の面目をほどこしました、其內關西地方へ講習に參り四十二年の一月に愈々全卷發行の報に接しましたので急いで歸京致しました、二月十二日に發行して十八日の朝國光社が火災に罹つたものですから、多年苦心の著書も大半烏有に歸し、日常物に屈しない妾も其時ばかりは誠に殘念に存じました。

賞牌ですか初めて出品しましたのが凱旋記念五二共進會です、其時は畏れ多くも、皇后陛下の御用品として御買上げの榮を蒙り、猶有功銀牌を受領し、翌春東京都なる第四回全國五二品評會に出品して同じく銀牌を受領しました其時も宮內省より兩陛下の御用品として御買上の榮を蒙り記念狀迄も頂きました、其後各所に開設された博覽會や共進會等で賞牌を受領して居りますが、近頃は餘り出品致しません。昨年日英博覽會に付て毛利公爵御母堂、秋本子爵の御引立にて出品致しました。

製品ですか、妾は之迄家塾を設けて居りましたので、三百名許り卒業生を出しましたが其內半數以上は目下各地の學校へ奉職して居られます、この造花は貴婦人方にも御研究遊ばす方が多御座いますが、餘り器具を要しませんので、上流の方の御樂みかた〴〵貴重の時間をむだに遊さないでお使いものゝ一つもお作りになるのに大變適當な事と存じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

名家の實驗　教育資料

外へ捨して了うよ

原　胤昭

▲赤ン坊の心にもなつて見よ母
▲懲罰はシッコに早替り
▲實行せぬ罰、實行する罰

『アラ、まア厭だよ、此子は這廻つて遂々丼を顚倒たよ。ソラ又水を零した、いけないねえ、サア外へ捨して了うから』

口は未だ開けないが、赤ん坊の心で思ふには、

『是れは大變な事になつた、乃公も惡い氣で丼を顚倒したのでは無い、全く向ふに美麗なものが置いて有つたから、彼れを見やうと思つて、一生懸命に這つて行つて、チョイと握まつたら、丼が顚倒つたのだ、それを外へ捨られた日には堪らないなア、第一地面へ叩き附けられては痛いさ、若し母さんの手の反動で庭石へでも當つた日には堪らないなア。今度からは、最う丼なんぞは顚倒ないから、今日は勘辨して呉れゝば宜いになア……』

『シイ〳〵シイ。』

『オヤ、捨されるのかと思つたら、ナアニ、シイだつて、人を馬鹿にして居らア。』

或日又赤ん坊は火鉢に火の美しく燃えて居るのを見て、彼の赤い物を一番握んで見やうと、スタコラ〳〵火鉢の傍まで這ひ附けた。

『アラ、赤ん坊が火鉢へ掛つた大變だ。』

『オヤ、これも否ないつて、危いのだつて、オヤ〳〵、又外へばいだつて、ナアニばいだつて、亦今度もシッコに早替りをするのだらう。』

なんぞと前例に照して見縊つて了う。斯んな躾して育てられた者が、懲罰を重んせない者になるのです。

＊　＊　＊

『這ひ〳〵が、大層達者になつたのだねえ、危い物も顚倒していけない物も毀れ物も片付けてあげませう、サア一生懸命に這ひ〳〵して運動なさいよ、危い所へは氣を附けて行かないの……火鉢へ手を掛けてはいけません、手を痛くします、一遍覺えておゝきなさい』

と赤ん坊の手を握んで火の邊に近附け、

『そら、斯樣して火の傍へ手を寄せてごらん、熱いだらう、障ると燒けて痛い痛いになるよ。今度から火鉢に掛ると、ツメ〳〵しますよ、……アラ又火鉢に掛つたね、それではツメ〳〵しますよ』

と信とツメつた。

『ワア〳〵』

『それだから、最早今度からは、屹度火鉢に掛るのでは無いの』

と來れば、未だ口の聞けない這ひつ子でも、成程、母の命令は遵守らねばならぬ、背けば忽ち懲罰が來て、痛い思ひもせねばならぬものだと首肯きます、實に子供の躾け方は此の工合です。

●毛織物の洗ひかた（二）

高山　繁

●色物

▲縞毛布　縞毛布を洗ふ手順は、全く白毛布の手順と同樣で可いのでありますか、唯、過酸化曹達を用ふる分量を半減しなければなりませぬ。詳しく言へば、白毛布の場合には、洗ふ品物の百匁に對し、過酸化曹達の一匁許りを水八分に溶かして用ゐましたが、縞毛布には、百匁に對し過酸化曹達の半匁を水八分に溶した液を用ふるのです。又過酸化曹達液は、白毛布と同樣へ、可しいので、其他の注意も同樣であります。

▲色毛布　色に由つて洗濯に堪へるものと、弱いものとがあり、從つて藥品の量に多少の差があります。

（一）赤毛布と黑毛布　染色が堅牢ものであれば、白毛布洗濯と同程度の藥品を使つても可いのですこれが爲めに染色の薄らぐ患は有りません。

（二）萌黄、綠、青の毛布　洗濯のために色の剝げ易い患が有りますが、さりとて染色を保護しやうとて、洗濯に効の藥品を使用ない樣では、毛布に附いた垢を除去ることが不能から、たとへ染色は薄くなつても、十分に垢を除くことを主眼として洗濯し、而して後色揚げを爲たらば宜しいでせう。これも縞毛布洗濯と同じ手順で可しいのです。鼠、茶、鐵色なども又同樣です。

▲フランネル　フランネル地色物は、縞毛布洗濯法と同樣の手順で可い、但し絞りに鏝掛けを行ひます。

注意しなければならぬのは、濃赤色のフランネル、其他一般に濃きものは過酸化曹達液で洗ふ際に、染色が落ちて液に其の色を附ける事が多いので、若し其のものと一緒に白いものを洗ふと、白地の部分があるとか致すと、それに此の染色が染まる患がありますから注意しなければなりません。

▲セル地　縞フランネルと同樣の扱ひど可しいのです。只乾かす前にざつと絞り、乾きたらば直接に霧吹き鏝掛けを爲ます。又洗濯曹達洗をなす時には白地の處に黄味を帶ろ患があり、石鹼洗ひをすると地質が縮む缺點があるのは、前號に述べた通りで、セル地、フランネル地共通して注意すべきことであります。

▲縞モスリン　これには染色のあやし氣なものが多く、從て洗濯に由つて剝げ變ずることが多いのでありますが、總じて藥色をうすめて用ひ、軟かなブラシで絹縞物洗濯法に從ひ洗濯します。又水洗後ざつと絞るも差支はありませんが、毛織物は一般に水切れが惡いので寧ろ絞らない方が宜しいのです。乾いたところで直接に霧吹き、裏から鏝かけを行ひます。

▲友禪モスリン　過酸化曹達の溶液を用ひ、軟かなブラシで洗ふのも宜いが、過酸化曹達液のなるべく稀薄のと、濃厚のとを作り置き、薄い液で洗つては垢の拔けない程汚れの甚だしい部分だけに右の濃厚液を附け、ブラシで洗ひます。洗つた後は水洗し、少しく絞つて水を切り、硫酸に通し、再度水洗ひした後棹にかけて乾かし、それから絹縞洗張法と同じく檢張りにし、裏から布海苔を引くなどの手段を取ります。檢張した時は、檢目を消すために、耳に霧を吹き、乾いた後で鏝掛けをなします。

唯茲に注意したいのは、友禪モスリンなど洗濯するに當り、十分に垢を除き得るだけに洗濯すれば、到底色の薄くなるは免れない事ですから、色が剝げて其の儘に使用が出來ない場合には、色拔きを爲し、別に絞り染などをなし、新らしき物のやうになすがよいのです。（完）

夢二畫集秋の卷

秋の卷　定價五拾錢　送料八錢
語るに堪へない。歌はふ。歌はふ。小鳥のやうに歌はふではないか、若人よ、聲をあはせて歌はふ。

春の卷　七版　定價五拾錢　送料八錢
再版と三版の時に、訂正をして新しい木版を入れた。繪の間に散文が入れてある。

夏の卷　六版　定價五拾錢　送料八錢
是に新しい試みとして短詩が挿さむである、印象を表白するにあたり著者は、いかなる形式によるかを豫め考へてゐない。氣の向いたまゝに繪になり詩になるのだ。

花の卷　四版　定價四拾錢　送料四錢
たゞもう美しければ好い。眞、僞、善、惡、汚、疲、それ等のすべてさへ美しくあり得る。

旅の卷　三版　定價七拾錢　送料六錢
あの白い路は一體どこまで往くのだらう。まあ歩いて往つて見よう。ゆけどもゆけども果てしはない……私はまだ、今日も白い路を歩いてゆく。

冬の卷　近刊

發行所　東京麴町二丁目二番　振替東京二〇九一四番　洛陽堂

ちじれもくせも　もはへうけあい　二大奇方劑

本法は女髪結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七　小林濟世園

水晶おしろい

すきとうり　たゞ　水にて付るさ　白くなる　流行の薄化粧料にして　目立ぬ故　男子まも用ひられる

定價　五拾錢　貳拾五錢　拾五錢

本舗　東京　大和屋

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

坂正臣先生選評

天 相模茅ヶ崎 加藤李花子
今日はしも外國人の軒にすら朝日のみ旗にほふうれしさ
(評)國人の祝ふは當然なり外國人までもいはふにいたりて眞に 天皇陛下の盛徳を爽し奉るといふべし。

地 三河田原町 山田 純子
幼子も日の丸の旗うちふりて君千代ませと歌ふ今日哉
(評)三歳の童にまでも大きみを慕ひ奉る美なるかなわが國振。

人 近江 石井田壽惠子
あれましゝ今日をことほく民草もめぐみの露にいやしけるらむ
(評)君ごことゞぐによりて民も榮え民榮ゆるによりていよく君をことほぐ眞に君民一體。

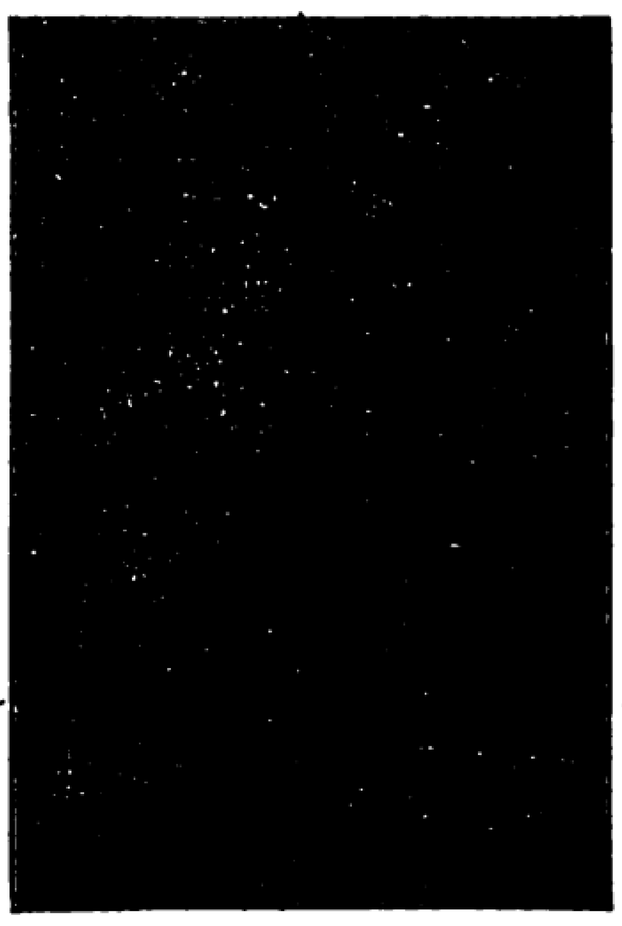
秀逸

今さらにあれいでましゝに心ちして君を八千代とわれはことほく 岡山 西村 長子
日のみはたとりのはやしのおくにさへ立てゝいはへる君がみよ哉 岐阜 野村なか子
おく山の一つ家までも旗たてゝ君がみあれの日を祝ふ哉 岡山 森島古野子
門ごとにみはたなびきて子供等の千代うたふこゑのとけかりけり 横濱 後閑らく子
天か下君の御威のかゝやきて千代を祝はぬ民草もなし 宮崎 やました
ほきまつるみ民の聲のみちみちてましゆく君かみ稜威かしこし 北海道 小野寺ちとせ子
大君のみいつあまねみとつ國のはてまて人の祝ふ今日かな 京都 難波らく子

佳作

わが國はいともたふとしきみがよをあまもきこりも千代といはひて 周防 生田喜久子
よろづ代もいはひ奉らん今日毎にわか大君の大みさかえを 同 生田登喜子
からくにのはやしにすめるとりまでもわかおか代を千代とうたへり 兵庫 三畑たか子
君か代をうたふ聲して秋晴れのまなひや清く御旗ひらめく 深川 服部ぬひ子
限りなきわか大君の御榮えをことほきまつる今日ぞうれしき 神奈川 足立原とく子
萬代かけてかゝれと大君のあれましゝ日を祝ふ今日かな 芝 土師利根子
君か代を入洲の外の人までも同じこゝろにいはふけふ哉 岐阜 坪井てい子
色深くみかきの菊のかをるらむ君か千歳の惠み仰きて 備後 荒木 科子
大君の聲はくとや海の面の朝日をあみて鶴のうかべる 同 後藤 龜子
なこりなくはれたるそらに大君の千とせほくらむたづそまふなる 横濱 鈴木まつ子
旗立てゝ賤かふせ屋も祝ふ哉晴るゝ東の雲あふきつゝ 下野 島田まさ子
天地とさかえますへき大君のうまれたまひし日を祝ふかな 備中 林 秀子
かきりなきわが大君の御壽をくみていはゝむきくのさかつき 山口 米田 竹子
今日といへはこすゐのつるも瀬の龜もわか大君のみよ祝ふなり 岩代 鶴田よしの子
大君のみあれの今日に菊の花さゝけて千代を祝ふたのしさ 京橋 宇佐美こま子
なりよくもけふのよき日にまく菊は千秋のかをりを君にさゝけよ 京都 日野千鶴子
大君のみよをいはひて民皆のめくみの露にうるふ今日かな 三重 莊司 種子
皇千度千度かされて祝はゝやわが大君のあれましの日を 岩代 小川しん子
大君の生れいてましゝその日とて千代とうたはぬ人なかりけり 本所 武田さん子
露井までひゞけとぞ思ふ學びやに君か代千代とうたふ聲々 京都 花輪よしの子
長きうへになほながゝれといのるなりわか大君のしろしめす世を 防州 久津摩すま子
大君のあれいてましゝこのよき日みやこも鄙も祝ふかな 山口 内藤きさ子
も知らぬをさな子までもうちましり君あれましゝ今日祝ふ哉 麻布 濱 子
ご國の人もろともにいはふなり我大君のあれましゝ日を 山城 山本靜江子
あなかしこけふのみあれなとことはにわかはらからはたえす祝はむ 芝 夏 子

(苑)(友)(小)(影)
廣島縣比婆郡庄原村 世良龜子



●苑友に申す
苑友諸姉を相互間に紹介致し間接に御親睦を企てん爲め諸姉の御肖像を本紙上に掲載致し度候に就ては御寫眞一葉當發行所宛御郵送の程願上候
愛國婦人發行所

鳴雪先生選

天 美濃國中津町中村川 安井 滞子
名月や宮仕へする姉の文

地 兵庫縣北條郡金木村 棟方みよ子
小法師を送る暇や夕鳴子

人 備後國甲奴郡庄原町 荒木 科子
忍び打つ卓文君の砧かな

秀逸

初秋や水にゆらるゝ竹の影 山城 山本靜江子
山本や紅葉の中の踊り花 日本橋 大橋まさ子
栗添へて丹波の鬼が手紙哉 美濃 酒井 蝶子

佳作

先淋の繪なりさながら月に萩 岡山 妹尾 丁子
物聞へば案山子なりけり夕闇寡 函館 八鹿 桃子
夜寒さの小猿にものをしへ居る 京都 但村はつ子
萩滑り來るや隣のつがひ鵜 同 山本靜江子
打ちよする波に秋立つ磯邊哉 同 人
學寮のともしび一つ宵の秋 兵庫 長田あき子
かはほりや軒並ひくき漁師町 同 人
月見つゝや松を境の最合井戸 三重 前田 敏子
蟲賞の片街床しや草の花 同 人
亂れ咲く野菊も秋の彼岸哉 京都 堀口 霞子
三日の月さして小萩の影淡し 同 人
名月の川に米とぐ女かな 長野 林部せい子
門川や盆瀬ふ落し水 岡山 森島古野子
秋風にころかり合ふやかんなくず 三重 莊司 種子
十六夜は山高きかと思ひけり 備後 妹尾 常子
明月の山を離るゝ大さ哉 同 人
草の戸の仁者に會ひぬ秋の暮 同 俳鬮 龜子
名月や人は繩なふ軒のかげ 同 人
厩の壁見に眼さけり闇の窓 三重 鈴木はる子
何事も云はず語らず秋のくれ 同 西村 長子
夢を買ふ鏡ともなれ今日の月 備後 荒木 科子
きのふけふ茄子小さし秋の雨 青森 棟方みよ子
砧打つ月夜の庭や人白き 同 人
宵の間を猫の欠伸や秋の雨 兵庫 三畑たか子
狩人の獸ふ鶏頭の茶店哉 同 同 人
秋の鳥鳴るや下や藥掘 同 同 人
總塚の萬穗に出でゝ蟲の聲 美濃 安井 滞子
水のよな流れ僕見る花野哉 同 同 人
秋の夜や打てば泣くてふ石佛 同 酒井 蝶子
鳥部野の蟲死もせで魂迎 美濃 酒井 蝶子
檜や夕餉の遲き木曾の宿 同 人
桐一葉人は萬葉の歌心 同 人
朝霧に木遣きゆる小木竹哉 同 人
冷やかや淺茅が宿か塗枕 同 人

▼愛國文苑▲

◎和歌兼題
坂正臣先生選
猪(〆切十二月五日 發表四十四年一月一日號)
月前早梅(〆切十二月廿日 發表四十四年一月十五日號)
佐々木信綱先生選
夜寒(〆切十一月十日 發表十二月一日號)
歳暮(〆切十一月三十日 發表十二月十五日號)

◎俳句 内藤鳴雪先生選
秋季雜詠(五日、廿日の兩度締切)

入選者には左記の賞品を呈上致します
天、賞品、宮内省御歌所御校、兩陛下の御製を收めたる「日月帖」一部(俳句天賞は寫眞ブック一冊)
地、賞品 繪葉書ブック一冊
人、賞品 繪葉書ブック一冊

▼愛國文苑▲

日誌

▽十月五日(水)曇 故中山從一位局三年祭に付兩陛下より御代拜のあり ◎葡國革命黨騷亂の報續々として至る
▽十月六日(木)晴 伏見宮博恭王殿下橫須賀御成 ◎細川幽齋公三百年祭
▽十月七日(金)曇 去る五日葡國共和假政府を立て大統領以下を任命す ◎朝鮮人授爵 ◎米國觀光團入京
▽十月八日(土)曇 閑院宮赤十字社總裁宮殿下前橋御成 ◎羅馬字ひろめ會 ◎山田式飛行機自由飛行をなし稍成功す
▽十月九日(日)曇 閑院宮殿下前橋より御歸京
▽十月十日(月)雨 皇太子殿下御臨檢驅逐艦海風進水す(於舞鶴)
▽十月十一日(火)雨 伏見若宮殿下橫須賀御成
▽十月十二日(水)雨 東宮殿下關西より御還啓 ◎池上本門寺會式
▽十月十三日(木)雨 伏見宮殿下前橋御成
▽十月十四日(金)曇 鮫島海軍大將逝去 ◎本會顧問男爵松平正直氏樞密顧問官に親任さる
▽十月十五日(土)雨 聖上陛下河内進水式御臨幸、朝香宮妃殿下、竹田宮妃殿下同じく御臺臨 ◎閑院宮妃殿下秋色を賞でさせらる ◎皇后陛下新宿御苑へ御成、朝香宮妃殿下若宮姫宮御同伴小田原御別邸御成の月
▽十月十六日(日)曇 閑院宮殿下小田原御別邸御成 ◎練習艦隊長途航路に上る
▽十月十七日(月)曇 神嘗祭
▽十月十八日(火)雨 故鮫島大將葬儀に付き宮中より祭粢料御下賜 ◎伏見宮殿下御陪觀 ◎竹田宮京都御成
▽十月十九日(水)雨 三皇孫殿下越中島水產講習所御成 ◎ベッタラ市
▽十月二十日(木)雨 皇后陛下濱離宮御成 ◎李朝鮮王子誕辰 ◎寺內朝鮮總督歸京

●第百二十五期會員二十名募集
歌通信教授
本橋宿屋町十六速成作歌會 會則及講義錄見本申越次第呈
●各雜誌投稿取次は同〆切日〆切とす

世の多くの婦人は
子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く従つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だ洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に内服藥の必用なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は内服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、黴毒性子宮病等の特效あり殊に良夫の黴疾に罹り居る時は黴毒菌の爲に心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說　風馬牛（一）

圖鋼

道子は今日で丁度三遍ばかり勧說れるのである、もう今は餘程決心する所が有るらしい。

「道子さん、今日はアノ、此の間話した事を今一遍お前に勧說ふと思ふんです、餘り諄いやうだが、お前さんも最早二十歳でせう、前にも言つた通り、私だつてお前は總領の事だし、嫁らずに濟むことなら嫁りたくはありません、而して又、もと〳〵嫁る積りでなく、何卒良い養子を尋ねてと思つて居たんだけれども、彼の太一が生たし、……男の子が生て見れば、其れに相續させるのが當然だからね……分家さしても可いやうな者だが、ドウモ本家分家といふ者は一得一失でねえ……如何かすると、却て他人よりも不和くなるのが多いからね、其れで思ひ切つて貰ひ人のある今の内に嫁らないと、モウ追々時機を失くして了ふ、尤、娶はれるが幸ひで何所へでも嫁るといふのは厭だから、一昨年から最早何十軒かも知れないけれども、お前さんは勿論、父上や私の氣に適らない所へは嫁りませんよ、其れはお前さんも知つてる通り、併し、華子も早や十八ですから、一つ二つ求婚もあるのです、けれども、お前さんの片付かない内は、順も違ひ道でもなし、それだから、斯んなに勧說のですよ……ね……だから、お前も今度は決定てお呉れよ、ね、如何かい。」

「イヽエ、私は決して家に居て跡目家督を貰はうとか、先方が不足だから、などゝいふやうな了見は少しもムいません、早く身を片付けて御兩親に御安心させたいのは山々ですけれども。」

「サ其んなら、速く決定た方が可いでせう。」

「イヽエ、けれども、肝腎の配偶がドオモ不安心で……私の爲めに不安心なばかりでなく、末始終思束ないと思ひますから。」

「オヤ、其れあお前さん、飛んでもない考へ違ひですよ、お前も知つてる通り、先方は自家よりも幾十倍の財產家で、又肝腎の配偶はお前さん知らないでせうが今年商科大學を卒業した學士さんだといふ事でね、而して私は此の間始めて叔父さんの家で面會たが、お前の配偶にしても決して耻かしう無い男振だよ。」

「イエ御母さん、私は男振なんか選びません只男らしい氣象があつて、誠心の人で無ければ安心が出來ません、彼の方はドウモ私には氣に入りません。」

「アラ、お前彼の方を知つてるかい。」

「ハイ、能く存じて居ります。」

「オヤマア、何時から知つたの？」

「何時でしたか……去年の春頃でしたらう？叔父さんのお家で骨牌をするから來いと仰しやつたでせう。」

「アヽア、然樣いふことがあつた、其の時かい。」

「アノ時華子さんと二人で參りましたね、然うすると、彼の方と、外に四五人男の方が在らしやつたから、歸らうとしましたけれども、叔父さんも叔母さんも決して心配ない方ばかりだから居れと仰しやいました、其れも叔父樣のお家でなければ、是非お斷りをするのでしたが、お叔父さんも御一緒でしたから、二三遍取りましてお暇いたしました、其の時叔母さんが、彼の方と外の方と、其れ〳〵御紹介下さいましたから、私も御挨拶を致しました、其れから四五日經つて、彼の方からお手紙が參りましたが、何の爲めだか分りませんから、其の翌日丁度叔母樣が入つしたので、御相談致しましたら、何か知らないけれども、讀んで御覧と仰しやいましたから、其所で讀みますと、マア迚も男らしい人の言はれない事ばかりでしたから、直ぐ叔母樣に、貴方からお返し下さいと申しましたが、イヤ、私にも內密でお出しになつたのであらうから、知らぬ顏してお在と仰しやいますので、其のまゝ燒いて了ひました、其れから後は、三日にあげず郵便でお遣しになりましたが、お名前が私の知らない女名前にしてありますから、皆燒きすてました、然うすると、此の春の彼岸にお兩親の御名代でお寺參りをしました時華さんと二人で……、彼の方も叔父樣と御一緒に、矢張り大學の制服でお二人とも、お寺に來て在らして、歸りに彼の車で叔父樣が家へ寄れと仰しやつて、四人で叔父樣のお家へ歸りました。」

「然う〳〵、然んな事がありました。」

（ツヾク）

流行いろ〳〵（三）

白牡丹店員談

◎今秋から稍大きな髷が流行し出しましたので、自づと影響を蒙り、櫛は形が大きくなり、笄もズッと長くなりました。從つて總てのお好みが派手に〳〵。

◎先づ若向の地と模樣を申せば、黑鼈甲に金地黑の蒔繪、之れに青貝の彫込み、模樣は水と彫の梅淡泊したもの。

◎中年向と致しては新櫛型、從來是迄のと大差はありませんが、只新しい新なのは櫛の峰が蛤峰（一名蛤齒）といつて、金と青貝と銀で黑地へ象嵌で現はしたもの、模樣は古代布地の寫生模樣が一般にお好みが多いやうで御座います。

◎價値は、本甲畫ならば一組十四五圓から二十圓位迄、ゴム畫ならば五六圓から八圓迄。

◎金屬製のでは、二十金畫に男波女波を透し彫りにし、眞珠、ダイヤなどを刻め、二十二三歳から三十歳前後の奥樣向として纏つた品物がありますが、價値が二百二三十圓前後で御座いますので、一寸賣行きが少なう御座います。

◎根掛けは、翡翠の流行が沈んで參りまして、若向きと致しましては玉は珊瑚、或は二十金高彫透彫に眞珠を鋏めたもの、珊瑚玉の座摩で十二三圓から五十圓位迄、イタリー產ならば七八十圓、金屬製のは二十圓位からあります。銀畫に金鍍金は二三圓位で中年向には眞珠鏤ぎものが宜ろしいでせう。

◎簪、相變らず若向と致しては金の平打ち、大きさ六分から、年増向には四分位、十八金の透し彫りならば團扇は廢れて寫生模樣が全盛です。價は十四圓から、又珊瑚の玉も金足のが流行し出しましたが、之れは十二三圓から五十圓位迄。

◎手柄は、從來鹿子絞り絹糸編み三浦絞りが幅を利かせて居りましたが、昨今はテンで駄目で、流行は羽二重鹿の子か、疋田絞りといふ處で御座います。

◎束髪で、流行二枚櫛の上品向を申せば、白鼈甲に眞珠をあしらつたかたばみ、百合などの寫生模樣彫り、形は一ノ字、三ツ山、四ツ山など、價は五十圓から百圓、同四方張りは十圓から十五圓まで、此外、本甲畫に十八金のヌーボー式寄草彫刻が流行ります。金貝張り金地割貝細工模樣の手輕なものでは一圓位から三圓位のがあります。

◎束髪簪は、水仙、秋海棠などの鼈甲彫刻が令孃向として澤山に出來て居ります。

素人料理

▲鯔の吸物、三枚に卸し薄鹽に當て、ざつとゆで置く、別に昆布と鰹節にて煮汁を作り、鹽と醤油にて味を付け、魚としめじ茸とを入れて椀に盛る。

▲牡蠣むし、せりを五分位に切り置き、玉子を破り置き、鍋に味淋と醤油を好みに入れ煮立ちたる頃牡蠣とせりを入れ、又煮立ちたる頃玉子を入れ、玉子のかたまりたる時、小丼に入れて出す。

▲牡蠣フライ　洗ひ上げたるカキを乾きたる布巾にてよく水氣を去り、玉子をときたる中に入れ、パン粉にまぶし、油にて揚げ、ソースをかけて食べる。

◎橋本救世丸と雨敬氏　此頃片瀬の別莊に雨宮敬次郎氏を訪問せる客あり談偶々故橋本子爵の救世丸發賣の事に及びしに氏は曰く橋本子爵は偉大なる人にて實に醫師の神樣なり自分が嘗て洋行の際同子爵と船を同せし故に懇意となり經世上の事に就き論議を闘はしたる事ありいたく其說に感服したるが今其人の遺方を救世丸として發賣するに至りたるは誠に先生の偉績を偲ぶの價ともなり又世人を裨益する事定めて多からん云々

○新案流行　の胡蝶與帶は男女共春夏秋冬衞生上缺くべからざる要品なるが殊に冬期は腹腰を温める故冷性は勿論婦人病の未然に防ぐ重寶なる品にして其製作も至極便利且つハイカラ的にして着用の儘仕用自由なる故婦人子供にも大に用ひられ今や貴婦人界の好評を得頗る賣行き宜しき品なりと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一月（霜月）

◎行事　三日、天長節、青山練兵場にて觀兵式執行○六日、靖國神社大祭○八日、鞴祭○十五日、七五三の祝○十七日、満月○二十三日、新嘗祭○四日、十六日、二十八日、酉の市。

◎季節　「立冬」「小雪」晴夜結霜を見、晩手水鉢に薄氷張る、王子瀧の川　海晏寺などに紅葉貯よろしく　團子坂の菊見賑ふ。

◎家事　煙草盆は火鉢に、袷は綿入に替る、日の中に洗濯物、夜なべに布團の綿入、其他油斷すべからず。

◎食品　眞味の魚類には、比目魚、沙魚、はも、むつ、伊勢海老、章魚、野菜類には、八ツがしら、ほうれんそう、果物には樽柿、蜜柑、林檎。

◎日曜　六日、十三日、二十日、二十七日。

總房の山川（一の上）

千葉　松平淑子

總房の地は名所と云ふよりは、寧舊蹟が多く、私が探り得ました丈けでも、左の如くに有ります。

○葛飾の眞間の手兒奈、眞間の繼橋
○同小金町　本土寺内秋山夫人墓（源光圀撰文の碑あり）
○千葉町來迎寺内滿譽大僧正墓（南朝の名臣藤原藤房の弟季房の男なり）
○同寺内千葉家第十五代氏胤夫人墓（新田義貞の息女）
○同寺内尊空法親王の御墓（伏見宮第七世邦輔王の御系統に渡らせらる）
○上總長生郡本納町橘神社（日本武尊の事蹟）
○同君津郡小櫃村壬申山（大友皇子事蹟）
○下總印幡郡野田村内裏塚（大友皇子妃の事蹟）
○上總夷隅郡布施村は藤原景清の産地なるを以て其遺髪の碑並武具等あり。
○同山武郡の郷常顧寺内上總五郎忠光の墓（景清の兄）
○其他源頼朝が宇治川の戰に梶原景季に授けし駿馬磨墨の産地、及源義經が鵯越を乘下せし駿馬大夫黒の産地、源三位賴政の首塚

眞間の手兒奈の事蹟をお話し申上げませう。

手兒奈のことは萬葉集にも出て居りますから御存じでせうが、中には詳細ことを御存じでない方も被爲入だらうと存じますので、かい摘んで申上ませう。

手兒奈とはその人の名かと思はれますが、これは東の方言で、男兒のことを手兒、女兒のことを手兒奈と云つた、是についての眞淵、菅廬などの説も有りますが、略して其事蹟のことに移ります。

さて、手兒奈は葛飾の產れで、今の市川町の地、田舍に稀な美人で、加之志堅固で、孝行な質で有つた、然るに不幸にも幼い時に母に死別、其後父は後妻を納れしに、其繼母が、いかにも苛酷な女を遇ひました。けれども、生來孝心深い性であるから、少しも之れを怨むる色なく倍々孝養を怠らなかつたが、繼母は猶あきたらず、或は罵り、或は打擲することさい度々なれば、近隣の人々も繼母の行爲の餘りに酷なのを惡み、其の父に告げて之を追ひ出さうとはかるのさへありました。然るに手兒奈は之を押し止め、斯くあるも皆妾の不敏より起りしことなれば、必らず父に告げて心を煩はさしめ給ひぞと、堅く云つて止みませんので、人も餘儀なく涙を呑んで、益々孝女に同情するのみでありました。して、其十五六歳といふ時に父も身まかりましたから泣々懇に亡き跡を弔ひつゝ、繼母に厚く仕へて居りました。然るにこの孝女こそ絶世の美人故、之を娶らうと云ひ寄る者が數多有りましたが、手兒奈は却つて之を憂事に思ひ、皆之を謝絶り、只管孝養を怠らなかつた、が、こゝに又一つの波亂が起つて參りました。

最上醬油　富　釀造直賣

○定價表見本御申越次第進呈

釀造直賣品は勿論弊店は醬油等專業各種最上醬油特約發賣元なればきつこうまん山サ其外なんでも安くて安心です

○一樽以上市外遠達地方運賃半額弊店負擔

陸軍御用達　太田屋

東京小石川區新スワ町（飯田橋際）
電話番町一四〇六
振替東京八〇八七

十一月一日より

冬物新柄大賣出し

懸賞玩具、文房具る
貴金屬寶石装身具る
流行帽子、化粧品る
寄ぎれ見切反物る
洋服コート地新着

御高評の餘興は今回一大改良を加へ引續御觀覽に供し居候に付御來觀願上候

東京日本橋
白木屋呉服店

◎意氣で高等でハイカラな新案流行の腹巻は是れ

○胡蝶腹巻は實に左の特長あり
第一冬は寒さしらず夏は寢冷しらず四期兼用の重寶なり
第二猿股兼用にして而も猿股の如く不便なく股部牡丹止めなれば伸縮自在にして着用の儘兩便共用達自由なるが故に婦人子供等には無比の要品なり
第三總てネル裏なる故に股當り和らかにして快よく腹腰を溫め疝氣寸白其他婦人病一切を未發に防ぐを以て上下男女の別なく衛生上缺べからざる要品なり

價格（甲斐絹表上製壹枚金壹圓五十錢　モスリン表上製壹枚金九十八錢　羅紗表上製壹枚金七十五錢　イタリヤネル表上製壹枚金七十錢）
右の外綿入各二十錢増し

東京市神田區柳原河岸通り
婦人藥神功湯本舗　山田天賜堂
胡蝶腹巻販賣部
電話浪花三三五二番
振替貯金口座一〇五八一番

文學博士　芳賀矢一先生序
文部省視學官　槇山榮次先生序
東京女子高等師範學校訓導　斯波安子先生新著
新國定教科書準據

つゞり方の本　一名小學作文

尋常三學年前後期用
尋常四學年前後期用
尋常五學年前後期用
尋常六學年前後期用

一冊　定價金五拾錢　郵税四錢

嚢に本會の出版せる斯波先生著つゞり方の本は非常なる好評を博し忽ち五版を賣盡せり依て今回新國定教科書により更に同先生の著をこひ本書を出版せり本書は著者十數年の經驗に基き兒童學力の程度と心意狀態とに應じ著者獨得の筆に成りしものなれば愛兒の綴方の進歩を望まるゝ父兄は速に兒童に一本を供せられよ

發行所　研商會
本郷區西片町一九
振替貯金一二五七二

皆様今日もまた丈夫で元氣で心から愉快に「暮す様」「ゼム」を今すぐ召上れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

坐ながら百里を隔てし病人を治すといふ醫師を訪ふ記

神田區三崎町二丁目五番地に精神學院といふ看板を掲げ終日「エッ〳〵」の氣合を掛けつゝ百里を隔つる病人でも治す醫者があると云ふ不思議な話を聞き込んだ記者は好奇心を起して一日院長眞島丹吾氏を訪ふて其療法を聞き且つ「エッ〳〵」をも實見致しました。

記者は其療法に就いての可否は申しません只聞いたまゝ、見たまゝを御紹介してあとは諸姉の御判定に任せませう。

◉エイの一喝は患者の全精神を轉換す　私の治療は專ら精神療法で藥物療法は斷然やらない、言ふ迄もなく肉體は常に精神作用を受けて活動もし沈靜もするので若し病氣になつて「アヽおれは病氣になつた」と落膽すると其れが直に肉體に影響して細胞を弱らしめて益々重患に陥り遂には其病氣に抵抗する細胞力が衰へて死に至るのであります、此の病理を應用して病人の精神作用即ち意志力を盛んにし「之れ位の病氣が何だ」と云ふ精神を喚起して一切病といふ觀念を去らせ、全細胞力を強大ならしめる是を治療の法として居るのであります、然し人間は自分丈の力で病的觀念を去ると云ふは困難でありますから、私は病人に對して十分に私を信ぜしめ「エッ〳〵」の氣合を以て患者の全精神を轉換させ、悲觀は變じて樂觀となし患者に勇躍歡喜の念を呼び起さしむる事とするのであります。

◉如何んな病氣でも癒る　此の眞理を應用すれば何んな病氣でも癒ります、肺病胃病癩病でも癒し得ると存ます催眠術は病人か睡眠狀態に在るときに暗示を與へるので一時は好くなりますが再び發します、私のは精神療法で根本的に治療するのです

◉遠隔療法　曾て東京倫敦で心理學者や醫者紳士が劇場に會合して「デンマルク人」のサンジック夫婦をして遠隔思想感通を實驗して世界の科學者界を驚かしめた事があります、私は矢張り此の感通作用を應用して遠地の患者の觀念に變化を與へ以て治病の策を講じ自分ですら驚くべき奇蹟を奏しました、併し遠隔療法は單に感通のみでは力が及びません即ち信念豫期方を誘發せしむるのが肝要であります。

◉不思議な實驗　眞島氏は氣焔を吐いた後に幸ひ治療中の患者があるとの事で記者を其治療室に導かれました、室は四疊半の美麗なお座敷、中央の「ベッド」に横りし患者は三十二三歳の上品な婦人でありました、患者の病名は永らくの胃病であるとのことで余程衰弱もして居ました、先づ眞島氏は患者の兩掌を合して居る頭元に不動の姿勢で坐し患者を睨んで「エイ」と大喝一聲、あな不思議患者はピリ〳〵と全身を震わし再び「あなたは病氣ではない壯健だ胃病などは何處を診察してもない健康だ」と嚴かに命令すれば震いはだん〳〵靜りて既に安心してか眠りに就いた、治療の實見は單に是れだけでありました然し治療中の眞島氏の熱心の餘り流汗淋漓たる狀態には心の小さな記者もブル〳〵と震いました。

終りに今日迄此の治療を受けて全治せしものが枚擧するに遑あらざる程ださうでありますが、大文庫に山なす全快禮狀も保存してありましたが中には貴顯紳士のお名前も見受けました。（一記者）

大日本齒科衛生研究會

モデル齒磨

齒科醫百余名合議製劑

東京日本橋區堺町通ふきや町　電話浪花千二百七十番

良藥にして口に甘し

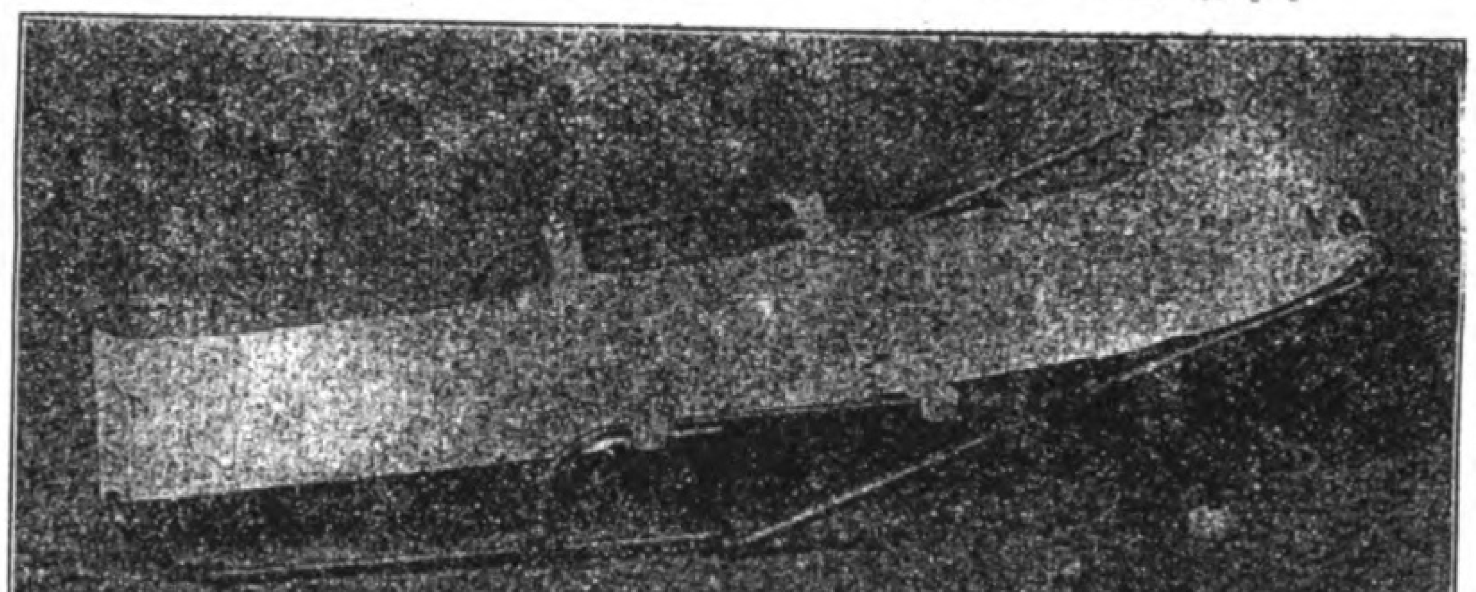
たんせきに　あさだあめ　淺田飴　すきはらにめし

たんせき　ひきかぜ　はいびよう　よわき人によし

定價

東京本店　堀内伊太郎　大阪支店　全國藥店取次

病室用一森式寢臺



此寢臺は各大醫の賞賛を受くるものにして之を敷蒲團の下に置くときは厚布にて身體を支ふるの構造なるに依り寢心地誠に宜しく且つ敷蒲團と疊との間に空隙を生ずるに依り濕氣を防ぎ衛生上其効尠なからざれば獨り病室用のみならず一般寢床用として其工合能きことを試みられたし又本品は疊み込む事を得て至極輕便なり

定價金六圓　送料金五十錢

右十二月一日より發賣致候

本年中に御買取の方には定價の一割引の上日本全國無料送達可仕候

一森式座椅子寢臺發賣元　東京市芝區下高輪町廿一番地　樂民堂　電話芝一〇九五番

都こしまきは昨年發賣以來貴婦人方及花柳社界を始め一般世間の大好評を博しましたが今年は更に〳〵改良を加へ最も實用に適し體裁も優美になりました

都こしまきは舶來上等毛絲にて丸く筒形に製ひたものでノビチヾミ自在でシックリと體につき輕くて暖かく體裁もよろしく一般御婦人用として殊に血の道子宮病腰冷え等御婦人病一切にはナクテナラヌ必要品であります「色合には白紅淡紅色の三種有ます」

定價　壹號壹圓八拾錢　貳號壹圓五拾錢　參號壹圓貳拾五錢　四號九拾五錢

都シャツ　壹號壹圓八拾錢　貳號壹圓五拾錢

メリヤスネマキ　壹號貳圓貳拾錢　貳號壹圓八拾錢

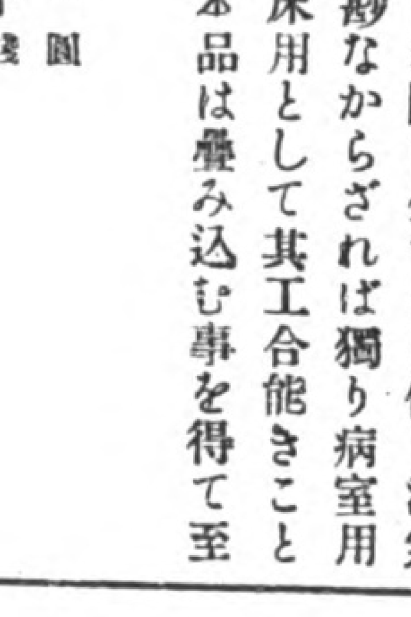
市内ハ電話又ハ端書ニテ御注文次第早速御屆ケ致シ升市外郵送料八錢

注意　近來僞物あり御買求の節櫻印都こしまきに御注意を乞ふ

都こしまき製造元　東京日本橋區濱町貳ノ拾四（改正道路）　西部商店　電話浪花三七四六番

○幸福を生の母は曰く神功湯奈り

勿疑ふ食は美味も知り難し



用ひざれば偉大の効能も知りがたし

知らず知らず不幸の人となる勿れ

定價　四日分三十五錢　一週分六十錢　二週分壹圓十錢

主治効能　婦人血の道　○子宮病　○月經不順　○產前產後　○其他婦人病一切によし

神功湯發賣元　東京市神田區柳原河岸廿四番地　山田天賜堂　電話浪花三三五二番　振替貯金口座一〇五八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

赤穗義士の内 勝田新左衛門　大島光利口演

第五席ノ二

〇『ヤイ〳〵此畜生何が花盛りだヱ、友達の交際のねヱ奴郎だナ、こん畜生俺は旦那に捕つて動く事が出來ねヱ、此の通り水洟が垂れて寒くつて堪らねヱ、二三杯淨湯を汲んでくれねヱか、ヱー若し旦那此の終りは何うなるんで御座ひませう　重『夫を聞きたいから質るのぢや　〇『へヱヘヱ成程　重『その赤穗浪人は何人ばかり居る、〇『左樣で御座ひますな、四十六人とか七人とか云ひまして　重『ハテナ、敵を謀るは味方より謀と云ふ、藝州廣島へ出立すると昨日婿の勝田が話したが、夕べの話を聞くに就け、偖は仲間に加はつて他言爲さゞる誓ひの爲め吾を欺き居つたるか、コレ町人勝田新左衛門と名乘る者其内にあらざりしか　〇『左樣で御座ひますな、其の御話をしたくつても御覽の通り歯の根も台はねヱので御座ひますから、委しい事は申上げられません、其勝田と云ふのが仲間に在る方が宜ひので御座いますか、無い方が宜ひので御座ひませうか、重『其方は妙ナ事を聞く奴ぢや勝田新左衛門武堯其黨中に居らば、吾は世間に對して肩身も廣く、拙者の爲には娘の婿ぢや』、云はれて淨湯を二三杯肩から浴思ひついたるさそくの頓智　〇『旦那さま夫れぢやアその勝田樣が御在になれば貴所はお喜びで御座ひますな　重『然し婿が其の黨中に加はり居れば、彼に對して面目なし、若しも仲間に居らざれば世間に對して面目を失ふ、何方にしても一大事何うぢや居つたか、但し居らぬか、〇『ヘヱーお在で御座ひました　重『何に居つたと申すか、〇『左樣で御座ひます』重兵衛顔を瞬をせず打眺め　重『イヤ〳〵言葉多きは品少し、兎角貴樣はそは〳〵して居る、その言葉は信じ兼る勝田が居たとしすなら、年頃は何歳位ゐと見た、又人物の風采は何んと思ふ　〇『此奴は大分こみ入つて來ましたナ、何んでも温和樣な旦那樣で、能く樣子を見ると豪傑らしいと云ふ評判で御座ひます　重『能く申した、如何にも豪傑ぢや、夫故言葉數は至つて少い、其の代りイザと云ふ時には目前大山が崩れるも少しも恐れず、實に天晴な武士だ、〇『成程左うで御座ひますかヱ　重『して婿の勝田の年頃は何歳位ゐと見た、〇『左樣で御座いますな年頃ですか‥‥是は困りましたナ、重『何が困る其方の認めた處を申せ　〇『何にしろ何うも血だらけで夕べの御働きが拔群ので御座いますから、鳥渡判りませんな、お孃さまは御何歳で御座ひますえ　重『娘は當年廿三歳ぢや、〇『ヘヱーデ勝田樣とは何歳違ひの御夫婦で御座います　重『コリャ町人、其方拙者に聞くやうなものぢや、斯樣な處に永居は出來ぬ』と心急しく重兵衛は手早く衣類を着用し、帶締る間もあらけなく、脇差を小脇に抱込んで風呂屋の門を飛出す、ハヤ南北に馳せちがふ人心も空の有頂天、老若男女吉良の邸の仇討赤穗浪士の噂のみ、重兵衛益々氣を焦ち、我が家の横町に曲らんとする時、〇『サア〳〵御覽じろ、コレは本所松坂町の吉良樣へ赤穗浪士四十七人討入りましたる次第、世に珍らしき仇討中は平假名で事明細』、と聲高に呼びつゝ淺黄の手拭吉原冠り、足場も惡き泥濘を賣來りしを幸ひに、一枚買取て我家の玄關に駈上り、大音揚げた重兵衛が　重『娘ヨ、コレ花は、居らぬか』之を聞て娘は何事かと玄關に駈け出で　花『何か御間違ひでも御座いましたか』と云はれて重兵衛、鞘形の襖の前に帶をもしめずムヅと座し、重兵衛兩眼より溢れる涙　重『娘よ、孫を早く是へ連れて來イ、一大事出來致したるぞ　花『何が一大事で御座ひます』と云ひながら新太郎を夫へ連れ來る　重兵衛の申付け手早く眼鏡を差出させ購ひし讀賣を心靜めて熟と讀み、新左衛門の名前を見るより涙の爲め眼鏡も曇り　夫を取すてゝ　重『偖々天晴なる新左衛門、大望成就は芽出度芽出度、娘之を見よ其方の夫新左衛門は昨夜吉良邸に討入り首尾能本懷を遂たるぞ　花『エーとばかりに打驚き我子を膝に抱きしめて偖は御本望を首尾能く御遂げになりましたか　重『其方兼々知つて居つたか、花『イヱ知らふ譯はなけれども、昨日別れし其時に心にかゝる言葉の端々、意味深重の大望あるか、腰拔未練の臆病武士と今が今まで怨で居りましたが、偖もおでかし遊ばしたと讀賣手に取りあげ、見ればおぼろげながらも赤穗浪士の姓名がありました

專賣特許 エンゼル香油

紳士貴婦人專用高等香油

◎定價其他の詳細は返信用切手封入申込あれ説明書を送呈す

不思議の香油新發見

●A號エンゼル香油は毛髪を黑く光艶を出し毛根を養ふ唯一の高等香油也

清浦子爵 田原藥學博士 高山工學博士 三山工學博士 證明

●B號エンゼル香油は如何なる天性の縮れ毛も自然に矯正せる特許品なり

◎各地特約販賣店希望の方は至急申込みあれ御相談に應じ升

東京市本郷區東片町十五番　エンゼル商會　電話下谷二五六九番

特許 千代田火のし

極少量の炭火で長時間用ひられ温度の加減自在にて和洋の織物に巧妙にきゝめあり使ひ心地のよきこと眞に無類一度試用せば其工合忘れがたし

○各高等女學校裁縫科御用

東京淺草區茅町淺草橋際　阿部彦四郎商店　電話 長 下谷一九二三 仝 三二四八

女子文壇　十一月號 一日發刊

要目●北白川宮兩女王殿下の御平生●早婚と晩婚 三宅文學博士●學年で習ふた事は必ず役に立つ 松本學習院女子部長●新しき婦人の世に立つべき第一要件 西田敬止●血の氣に任せて身體を損傷してはならぬ 武田錦子●婦人に出來やすき子供の觀察 倉橋文學士●性慾の抑制 北島醫學士●外交官の若夫人を訪ふ●沈默せる進歩したる根本的化粧 小百合子●鳥の寢息 師者●鐵道線路の草 澤水●解放されたる二人の男 八橋有美●海上五十哩を距てたる絶島の孤兒院 佐々木好母●る若き女の男性觀 陽炎●京都愛讀者大會記 幹事●依例懸賞詩文販へり

價 口繪二石版寫眞版十一頁 一冊拾五錢送料一錢五厘◎半年增刊共八冊前金壹圓卅四錢

女子文壇 十一月十日增刊 今の婦人

紙數二百餘頁口繪太田三郎密畫其他 ●定價金貳拾錢 ●郵稅壹錢五厘

十一月號 一日發刊 口繪美 壹冊金拾錢 郵稅壹錢 價

少女

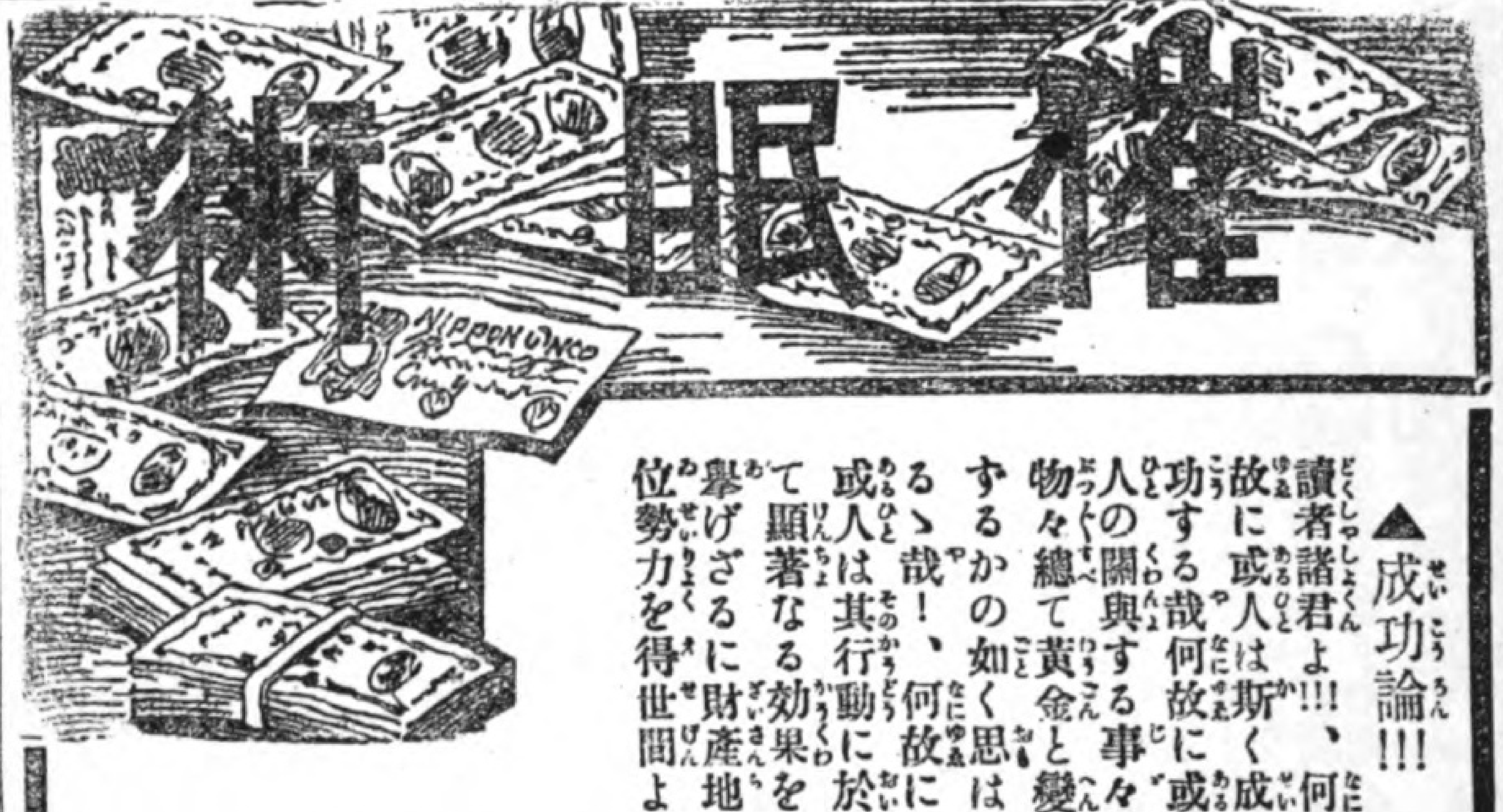
小說 おちさんいじめ●女間諜●姉妹●珊瑚の船●明日します●(對話)きやん子女史●其他澤山

千里眼 新題●探し字●難有い三度の御飯 新渡戸博士

東京市京橋大鋸町　女子文壇社發行　賣捌全國雜誌書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

催眠術



▲成功論!!!

讀者諸君よ!!!、何故に或人は斯く成功する哉何故に或人の關與する事々物々總て黃金と變ずるかの如く思はるゝ哉!、何故に或人は其行動に於て顯著なる効果を擧げざるに財產地位勢力を得世間より尊重渇望せられ超然として秀拔なる頭角を現す以上の現象に就て各位は其念頭に浮べし事ありや!而して各位は其由て來る所以を知れりや?

▲成功は何を獲べきや?

成功は難事なり乎、否!貧者は富者よりも一層難事を働くに非ずや!系統による乎、否!我米國の成功者は概ね此系統のいやしきものに非ずや!僥倖による乎、否!僥倖したる人も猶友誼を失ひ貧困にあるに非ずや然らば何故ぞや其故を諸君に說明せん生涯に於ける成功の秘傳なるものは即ち對人感化力なり換言すれば自己の思ひ通り他人に爲さしむる能力にして、例へば信認を得、友誼の深厚を得、又他人をして自己を援助せしむる事を得るか如きもの也茲に一の神秘的威力あり、夫により當るべからざる偉大なる對人的感應力を使用し、總ての障碍に打勝ち望むがまに〳〵、何人にも愛慕せしめ、心神を恍惚たらしめ、又夫により藥材藥料及外科刀圭の助けを借らずして、總ての疾病を救治し、及惡性の習慣を矯正し得らるゝものなり。其威力!是れ即ち成功の根本的基礎たり。

▲天賦の賜!!!

此威力たるや實に天賦の賜にして、貧者も富者も一様に必然繼承すべきものとす、又實に現世紀の破天荒の學說たるを失はず、自己の商品は市場に於て最好評を博し、自己の勉勵勤務は認識せられ自己の意見は正義とせられ、總て自己の希望は遂行し得らるゝ寧此他萬事が思ふがまゝに他人をして信服措く能はざらしめ得る其眞理那邊にありや?、斯る力が諸君に與ふる利益は如何なるものなりや?を思考せよ若し諸君が現今の地位を進め俸給の增昇を望まるゝならば或は諸君の兩親の收入を增さんと欲するなれば催眠術の智識は諸君に取りて有用缺くべからざるものなる事確也、而して人生に失望落膽し自暴自棄に陷れる人、即ち前途を全然悲觀したる人の生活狀態を改善したる例證枚擧するに遑あらず。

▲自宅獨習!!!

本協會は催眠術、心理感應術、感應的治療等を總て小兒と雖も尙通讀了解し得べき平易簡明なる日本語にて詳說したる現世紀の空前絕後の一大著書を今や印刷せり本書は知名卓絕の催眠術家にして造詣淺からざる文學士、哲學博士、法學博士エッキス、フ、モット、セージ博士の著述なり本書は苟しくも常識を有する人なれば此不可思議の學科を數日間に自宅獨習し朋友知己すら知らざる間に此力を應用し得らるべき斬新破天荒の當意即妙の極意を詳說せり。本協會は絕對的成功に就て保證し、金貨壹千弗の罰金の責に任ず此破天荒の著書を修習して得たる力により數多の人は年々二千磅より五千磅の範圍を今や作りつゝあり。而して其幾部分の人は非常に現大の財貨を蓄積し得たり

▲珍書無代進呈!!!

博士は一萬部を無代價にて公衆に配布すべき企畫を以て彼の著書の版權を買却したり而して此契約は今や實行しつゝあり故に萬國聯合郵便端書(金四錢)を以て左記亞米利加合衆國紐育州ローチエスター市紐育科學協會(エム)第五一二號宛申込まるべし。

通信は總べて日本文にて、宛名は左の如く英語にて記され度し英語の記けぬ人の切拔て端書に帖るべし

NEW YORK INSTITUTE OF SCIENCE,
DEPT. 512. M,
ROCHESTER, N. Y.,
U.S.A.

紐育州ビールハム市、ポールウヰニラー牧師曰く此偉大なる著書は黃金よりも貴し該書は遺憾なく破天荒の驚愕に價すべき秘傳を詳說せり而して其敎示の價値は聖書の次位にあり予は何人に對しても一部を求められん事を勸告するもの也

東京勸業博覽會二等賞牌受領

都足袋粹乃友

○三重足袋君が益は甲三重底三重なるを以て優に群を拔ぐの耐久力を有す
○三重足袋君が益は甲三重底三重なるを以て冬季は寒さ妨ぐ効力を有す
○三重足君が益は甲三重底三重なるを以て脂肪の滲出を遮ぎり體溫を保つの効力あり
○三重足袋君が益は製作最も精密なり故に縫目の破綻する虞なし

三重足袋君の益

○都足袋は曩に農商務省に出願して登錄商標專用を得たる物なり
○都足袋は外觀優雅にして現に都人粹士の歡迎を受けつゝあり
○都足袋は踵に縫目なく衣服の裾を傷ふことなし
○都足袋は製作に至大の注意を拂へり故に履具合良好縫目破綻の憂なし
○都足袋の材料最も優逸にして經濟上尠なからざる効力を有せり

白 紺 羽二重足袋

○羽二重足袋は外觀內容共に美麗にして一般社交界の好評を蒙れり
○羽二重足袋は御婚禮其他御儀式履きに缺くべからざる必要品なり
○羽二重足袋は衣裳の裾を傷めざるは勿論裾捌き最もよろし

各種足袋調進所

龜屋

地方よりの御注文は代金引換小包拾足以上は送料自居持にて御送附申上候

東京日本橋區室町三丁目
龜屋 宮內清兵衞
電話本局一七二一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人画報

十一月一日發行 十一月卷・紙數增加大改良。價廿五錢税二錢半年前金一圓五拾錢

讀物

女子敎育の新傾向 中島文學博士
自尊と人格 新渡戸博士
輕薄なる文士 福來文學博士
愛嬌と婦人 巖谷小波
女子必要の權利義務 川名博士

▼大婆公 いれ子 ▼音樂界三才媛 芙蓉子 ▼關西の婦人 すゞひろ ▼忘れ得ぬ友 玉水女 ▼戸の洗方 宮川高師敎授 ▼女髮結の結ひぶり ▼假名の書き方 ▼臺所科學 西村學士

畫報

行秋の名殘 岡落葉
令孃の立書と席上揮毫
東宮殿下行啓御座所
公設美術展覽會の出品傑作
東宮殿下への獻上品
閑院宮御家の繁榮
名流夫人令孃の筆蹟
各女學校の秋季遠足
盆石と盆畫及び挿花の栞り
東西兩京の髮形

◉寄宿舍生活 ◉令孃の三曲合奏 ◉少年少女遊び色々 ◉赤十字黨孃追悼會 ◉布哇行きの二僧尼 ◉令孃と投入花 ◉天長の佳節 ◉跡見女子門下才媛 ◉狂言 ◉神戸女學校 ◉郊外の兒童敎授 ◉かつぎ ◉菊花 ◉名家の令孃

讀物

皇后陛下御歌註解
生命と衣裳 宮田成女校長
婦人の讀物 下田實踐校長
小言と家庭 倉橋文學士

▼新歸朝の小此木女史 ▼女事務員物語 ▼和歌初學 竹柏園 ▼京阪の各女校 ▼今月の生花 秋山文子 ▼此頃のお惣菜 吉村里子

東京麹町飯田町四の四 東京社 電話番町二三三九 振替一一八一八

●日本赤十字社病院長橋本子爵 ●宮内省侍醫岩佐男爵 記念

故陸軍々醫總監從二位勳一等子爵 醫學博士橋本綱常先生處方

救世丸(きうせいぐわん)

胃腸肺病 原因療法

主治効能

強力なる消化、殺菌、防腐の作用を具備し胃腸を健全ならしめ肺、肋膜等の諸結核菌を全滅し從て赤痢、チブス等の傳染を豫防するに特殊の卓効を奏す

宮中顧問官岩佐病院主 正三位勳一等男爵 岩佐純先生處方

壯婦丸(さうふぐわん)

婦人諸病 原因療法

主治効能

ヒステリー、子宮諸病、月經不調、氣欝、動氣、逆上、腰痛、産前産後等婦人病一切の靈藥にしてめまい、頭痛、不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉効を奏すべし

海軍藥劑大監正五位勳三等 水野加以智先生製劑監督

●効能書贈呈 ●販賣取次は本舗へ申込まるべし ●本藥は全國有名なる藥店にあり
●藥價は兩劑共試用三十錢 小瓶七十錢 中瓶一圓三十錢 大瓶一圓八十錢
●送金は爲替又は振替貯金方法により送附ありたし郵券代用不苦候

本舗 東京市深川公園地第十二號 合資會社 福井堂 (電話長浪花五六九 振替口座東京二三六六)

取次所 愛國婦人發行所

●販賣希望の在鄕軍人及遺族又は有志者は郵券三錢相添へ本舗へ申込れたし

日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹸と記入し一見模造惡質石鹸と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹸」に御注意を乞ふ

半ゑり 帯揚 小帯 帛紗 伊達巻 るい

京都京極四条角 ゑり清 電一九三〇

毎度難有存じ升

流行の半えりを赤のれんへ御越

御似合の半えりを御高覽を願度

赤のれんで御見立を願升

一半えり。帯上。腰帶。帛紗。襦袢袖。
一鹿の子手柄。金具付帶〆。羽織紐。
一袋物類。
一ショール。ヴエール。マフラ。裾除。
一小児物頭巾。
一巾着。よだれ掛。エップル。まけ形。
其他種々取揃へ有之候

總本店 東京神田區小川町通り 老舗 赤のれん 電話本局二八五三

「東京へ注文いたすのが便利

であります。東京の三越呉服店へ向け、必要なるものを手紙にていつてやりますと、直に小包郵便にて送つて參ります。かういふ便利なる方法のあるを當地の人は未だ知らない樣ですから、よく敎へて上げて居ります」とさる地方の奧樣が仰せられました。誠に難有き仕合せに存じます。(地方ご注文案内書は御一報次第進呈)

東京駿河町

三越呉服店

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側 御影堂 持阿彌

毎日午前八時より午後九時迄院長診察

廣告 梅どく りんびやう わきが 生殖器諸病 ぢ

東京淺草橋通瓦町廿八 瓦町停留場横 中央醫院

皮膚諸病 梅どく りんびやう 消渇 ぢ 婦人病ヒステリー症たむしにきび等 婦人諸病

血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人

生殖器病 神經衰弱 記憶力減衰 陰萎夢精遺精 早漏陰蒸 發育不充分 わきが

▲病状を記し郵券六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院長處方の特効新藥説明書を送る

東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場横 中央藥院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

登錄商標

東京市京橋區新富町七丁目六番地
石鹸製造業
相馬帝國社

常ニ使用スレバ色ヲ美クシ肌ヲ滑ラカク光澤ヲ出ス本品ノ特色ハ使用ノ際永ク湯水ノ中ニアルモ又ハ紙ノ如ク薄クナルマデ使用スルモ溶ケ又崩レルコトナシ

創立　明治九年
資本金　貳百四拾萬圓
積立金　壹百八拾萬圓
電話浪花　四四二　四五四一　三七七七　四五六〇

東京市日本橋區小舟町
株式會社 **第三銀行**
監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
營業部長　清水虎吉

全國送金無手數料
其他銀行一般の業務便宜に取扱可申候

銀座一丁目河岸通(電話新橋八六六八)
帝國貯蓄銀行

飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表一丁目
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神樂坂支店　牛込神樂坂上
吾妻橋支店　淺草雷門前
須田町支店　神田須田町
米澤町支店　兩國米澤町
品川支店　南品川一丁目
横濱支店　横濱吉田町
代理店　日本橋坂本町田中銀行

●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱ふ●毎月五日迄の御預金には全月分の利子を付すべし

「家庭之友」編輯局案
新家計簿
定價金四拾錢　小包料八錢

此家計簿には他に無い**三大特長**が有る第一は**一定貯金の實行**で此家計簿を用ふれば如何なる家でも毎月の初に必ず一定の貯金をすることが出來る。第二は**豫算以内の理想生活**で此家計簿を用ふれば如何に經濟に不得手な人も豫算以内で家計を執ることが出來其結果月末に至り更に幾許かの附加貯金をすることが出來る。第三は**家事の整頓**で此家計簿には各費目表日計表の類の外別に家事整理上必要な新案の表が幾通りも有ツて之に據れば家事一切を簡易に愉快に整頓して行くことが出來る**要**するに此家計簿を用ふれば誰から強ひらるゝ事もなく一種の興味の中に極めて容易に且正確に**勤儉貯蓄**の實行が出來一家財政の基礎を鞏固に家庭の和樂幸福を増進する事が出來ます

十一月一日發賣　明治四十四年用
版元　東京巣鴨上駒込　振替東京三五五
内外出版協會

金婚正宗の名譽

●御進物用には至極好適

畏くも東宮殿下御買上の榮を荷へり

優等清酒金婚正宗の品質純良なるは既に定評あり而も價額尤も低廉也

●御常飲用には樽詰もあり

宴會用御瓶詰あり
瓶詰箱入
各洋酒問屋にあり

發賣元
神田美土代町二丁目角
豐島屋本店
電話本局　一七五四番　三八八一番

豆精

大改良の豆精は芳香佳味滋養に富み小兒便秘者脚氣病者に特効あり又た牛乳玉子の代用をなす家庭料理の必需品たり

三百瓦入一鑵　賣價金卅三錢

電話特番町二七〇九番
振替貯金東京二〇八二六

東京小石川戸崎町
大賀商會

▲廣告に就て謹告▼

讀者諸姉及び廣告依頼者諸氏の知らるゝ如く、本誌に掲載する廣告の一號一號に多きを加ふるは如何に江湖の信用が本誌に對し厚きかを證明する以所にして深く感謝に堪へざる所なるも、廣告非常に輻湊の結果は近來申込全部を掲げ得ざる場合も有之斯くては深く遺憾とする所にして、同時に依頼者諸氏に對し申譯なき次第なるも限りある紙面の制限は如何にも詮方なく候に付以後廣告締切日を左の通り相定め日限以後御申込の廣告は載否未定として取扱ふ事と致し度候間右豫め御諒承願上度候也

締切日　(毎月一日號)廿日　(毎月十五日號)五日

愛國婦人發行所廣告係

興味溢る菊花號と附録

婦人くらぶ

十一月一日　第三卷　第拾貳號　定價十五錢郵稅一六半錢冊稅共九十錢

▲天皇陛下御降誕當時我が國情……
▲女子の顔面の表情……藤島武二
▲經濟思想から見た日本婦人……法學博士 天野爲之
▲結婚前の某邸に小間使をして居た記……山茶花
▲戀のまぼろし……秋の野守
▲結婚月……柏樹下人
▲京橋の女(東京十五區の女の中)……森眞如女史
▲字を書く秘傳は調子を呑み込む事……農學博士 横井時敬
▲名流婦人の第一印象……岳野乙西子
▲病み心から墮落の淵……埴科松代
▲場の可笑し記……曳白生
▲美容問答……東京美容院長 北原十三男
▲男に欺かれ易さは女の弱點……法學博士 花井卓藏
▲小公女(附錄家庭小說)……バーネット女史原著

東京市神田區駿河臺北甲賀町十番地
紫明社發行

婦人くらぶ增刊▲

日韓併合記念 皇室畫報

各宮家御七十一方が日韓併合當時に於ける最近の御眞影御貸下の榮を賜へる者にして曠古の盛事に對する絕好の記念品にして各家庭に一部を勸む

發行以來旬日にして既に三版を頒布し盡し今や四版も亦盡きんとす

一冊卅五錢　郵稅四錢

電話本局三六八四番
振替東京一七五五四番

改良婦人もゝ引

色合　赤、白、桃色、鼠、

定價　中長　九十五錢　大長　一圓五錢

東京市日本橋區ふきや町(電浪二三三四八番)

ねびへしらず本舗
佃屋商店

昨冬非常の好評を贏せる本品は最精撰のネル地製にして腰卷を附隨しあれば御召工合のよき事は在來の婦人股引の比にあらず尚本年更らに改良を加へ股引と腰卷の取りはずしができ別々に洗濯する便宜あり婦人方冬の股引には全くこれが一等なり

●東洋一製造大販賣(卸し小賣)

◎夜具蒲團綿類ざぶとん

(乘)市街鐵・外濠・小川町・東明館前に下車を乞ふ

諸官省御用　(や)

●上時縱覽御隨意　珍柄高等品澤山有り

神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番

市内無賃配達

●綿質保險附　●確實大勉强　●正札引なし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案內

京橋區

◉院長ドクトル木村順吉
京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇)
婦人科產科木村病院

福田病院
東京采女町歌舞伎座前橫通
電話新橋(三三四二 四八八一)
院長醫學士 福田謙之
次長醫學士 加藤良逸
次長醫學士 狩野伊勢雄
小兒病一般(隔離室の設備あり)
小兒皮膚科
並小兒耳科

日本橋區

岩佐病院
日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地
(電話浪花六七九番)
診察時間 自午前九時 至正十二時
內科婦人科 院主 岩佐純
內科 院長ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
產科婦人科 醫學士 佐久間兼信
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

濱町產科婦人科病院
日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
院長醫學士小林八十七
醫學士大瀨貴明
醫學得業士杉原格藏

●產室增築落成
產科婦人科稻生醫院
日本橋區濱町貳丁目十一番地
電話浪花三三四三番

神田區

東洋內科醫院
東京神田區駿河臺鈴木町二番地(御茶水橋附近)
電、本八八八番(病院用)八九八番(私宅用)
院長診察、月、水、木、金、午前、入院、診后應需、松田、林、峰間三副長ハ目下當院ニ在勤

院長醫學士高田畊安
南湖院
神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱(從停車場牛里)
電、チカサキ二番
河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤、院長診察土曜日午后、入院、診后應需、

產科婦人科一般
松岡醫院
神田區佐久間町二丁目十七番地
電話下谷三七五六番

內科一般 午前宅診 午後往診
板垣亭
東京神田區美土代町三丁目十七番地
電話本局貳千九百七十番

產科、婦人科、嬰兒科
午後二時より五時迄〇入院應需
神田三崎町(三崎町停留場下リ)日本大學後
醫學士 佐久間兼信
電話本局五八二

小石川區

◎產科。婦人科
◎內科。小兒科
小石川西江戶川二六
電話番町(一四二六)
森種太郎

麴町區

○婦人科○產科○
飯田橋電車停留場脇
中島襄吉

內科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麴町區四番町四番地(電話番町貳三八四)
醫學士 中山敏樹

醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
醫學士 久保德太郎 日曜水曜午後婦人科的外科
醫學士 田代謹二 火木土曜日午後泌尿器病及內科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療妊婦產婦ヲ取扱フ
婦人科產科榊病院
麴町區三番町三三(電話番町三九五)

淺草區

內田病院
淺草區新福井町二(新町電車停留場際)
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士內田愼太郎
(電話下谷七一八)

產科婦人科專門
診察每日午前 入院隨時
淺草區左衛門河岸
電話下谷一〇二八
岩田病院

●小兒科に殊營養障害
內山小兒科醫院
淺草下平右衛門町十七
(電下二參六五)
院長ドクトルメヂチーネ內山好十

赤坂區

腦神經精神病
東京赤坂 青山病院
帝國腦病院
院長ドクトル醫學士 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
醫學士 望月溫象
電 特芝二七四五 芝二一六六五

產科婦人科 午前宅診 午後本所江東病院
東京市赤坂一ッ木町七十二番地
醫學士 河島右一
(電話新橋四一七八番)

本鄕區

…(診察時間)…
○產科、婦人科
月、水、金午前 橋爪病院(日本橋區蠣島町一の廿九)(浪花二六〇番) 入院應需
每日二時ゟ五時迄 自宅(下谷二四八七)
本鄕區眞砂町十五番地
醫學士 橋爪哲造

本鄕根津
眞泉病院
下谷電四三九
婦人科產科 醫學博士 千葉稔次郎
醫學士 中島襄吉
內科 醫學博士 栗本東明
醫學士 野村華造
醫學士 白川彌源太

芝區

◎產科婦人科
芝明舟町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

●產科
●婦人科
(午前宅診 午後往診 入院隨時)
芝白金志田町五七番
魚籃坂下(電芝五壹貳)
野口醫院

牛込區

產科婦人科
小兒科
牛込區納戶町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

麻布區

唐木產科婦人科(入院隨時)
院長ドクトルメヂチーネ 唐木保藏
麻布市兵衛町區役所橫通
電話芝二六二三

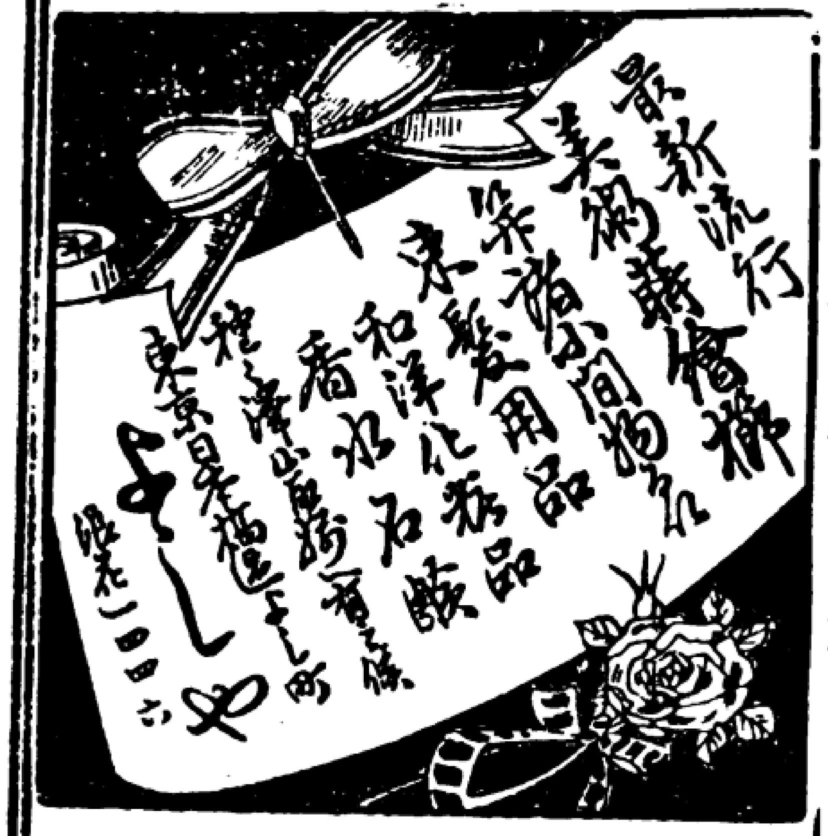
下谷區

產科婦人科天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長醫學士 天本治
(入院隨意)
(電話下谷二六六九)

府下

腦神經精神病科
東京龜戶町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



婦人世界

拾一月一日發行 第拾參號

蛤御門の戰に遭つた當時……中村母堂

◎女學生に讀ませる書物と禁ずる書物……三輪田元道

◎小兒病の豫防法……加藤博士

◎顏に似合ふ髮の形……桑島千代子

◎日本一の若い産婆……村田阿栗子

◎五百里の遠國から苦學しに上京した少女……昇よし子

東京京橋南紺屋町十二　郵便振替貯金三二六番

夜店で足袋を賣つた良人の貧乏時代……梅博士未亡人

一冊拾五錢　郵税一錢五厘　半年分郵税共一圓五錢

◎結婚前の理想と結婚後の實際……鈴木夫人 齋藤夫人

◎口癖のやうに頭痛がするといふ婦人……天本學士

◎筋骨を強壯にする食物……弦齋夫人

◎新聞呼賣の貞婦……萩原志計野子

◎私の今日あるは妻のお蔭……石黒男爵

我が國の婦人は贅澤になれり……村井弦齋

實業之日本社

妾事薄毛にて種々藥を試しも效なく醫博士令夫人より寄藥を得薄毛も濃くなり生えざる所迄毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに三百有餘の禮狀を受け不思議のまゝ…困難者へ告ぐ三錢郵券添御照會あれ……

東京京橋越前堀一ノ四　河村愛子

産科婦人科小兒科　女醫　鷲山彌生

診察時間　院長　毎日午前八時より　醫員　毎日午後三時より

内科部長　醫學士　武智基造

診察時間　火木土午後壹時より

病室及産室の設けあり入院隨時

東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院　電話番町二二五七

ちゝぶめいせん　めりんす　二子るゐ

東京人形町通り　赤のれん　おばなや本店　電浪四三四五

手紙で治療が出來る
遠隔療法

●泣ける難病者よ悲觀に沈める煩悶者よ救ひの光りは輝きぬ數百千萬里の遠きに居りながらに手紙の通信にて感通の妙法を受け不思議にも奇蹟的に直りし感謝狀續々として來る

●本院の開祖は桑原天然師創立贊助には海陸諸將其他貴顯多し

●感狀は上海。滿洲。樺太。朝鮮。桑港等より申込あり

●申込心得手續は郵劵拾錢にて詳細の説明及び山なす奇蹟の感狀實驗談滿載の肺病。腦神經。心臟。脊髓。中風。癲癇。リウマチス。腸胃病。ヒステリー等有らゆる難病の謝狀を引例したる福音なる小冊子を送る

東京市神田區三崎町二丁目　電話本局二七七五番　精神學院

◎手續不思議の感狀は文庫に溢れる程あり、難病の方又は其使として住所姓名記入の用箋等御携帶の方には何時にても御覽に供す

●肺病　清國上海　多田コト(二九)

●主訴　苦しき胸もち、時々熱、食欲嘔吐、五臟六腑かきみださる心地、呼吸迫まる、下痢多し、動悸強し、

◎此度は有難き先生の御恩念にてさしもの實患も日々輕く胸の苦みも去り動悸少く痰咳減じ日々心地能く相成り(中略)感動狀態第六日目合掌三回膝を撫で平伏やがて兩腕を鬪しく上下し平伏其儘撃を揚げておかしくてたまらぬ樣に笑ふ七分間許り頭の上にて合掌して左右の手を前方にユキチガイに水泳する樣に烈しく十數回手をのばし合掌平伏……不思議な事には或夜歯が痛んだ直ぐに手は置ふて顏を撫でましたが痛は忽ち止んだア丶有難しと東京に向ふて禮拜すると思はず先生には愛にありと口走り茶柵の方を指して病の事を何へばお前の夫は蛇の性だから萬事まかれて居れとの誡めア丶有難しと思ふ間もなく箱根の温泉へ轉地せよの御教へまたく不思議な事があるのは略します昨今では病は益々宜敷方になりましたとの感狀

◎心機一轉の妙法實に無碍自在である其他遠地に在る肺病患者に不動の金縛りを施行し信念を高め奇効を奏せし例も澤山ある

POMEROY FACE POWDER

貴婦人令孃達が純良なる白粉で日常にお化粧せらるゝとますく素顏の美を發揮せらる、世に尤も恐るべきはあき惡質白粉です、顏面に小さき腫物を吹出す而已ならず終生恢復し能はざる斑點をのこす

ポメロー井白粉は貴婦人令孃達が安心して御愛用できる白粉です

▲郵劵四錢送附せば試驗用として全國無料郵送す

製造元　ポメロー井株式會社　英國倫敦カーナビー街

ラ、ビルデ、バリー館

日本一手發賣元　東京京橋區山下町十八番　神戸市生内前居留地上

MRS. POMEROY, LTD., 33 AND 34 CARNABY ST., LONDON.

最上醬油

發賣元　日本橋區小網町三丁目廿七番地　濱口吉右衛門

品質優等ニシテ調理ニ適ス

釀造元　下總國銚子町　濱口吉兵衛

宮内省御用達

最上醬油之元祖

開業貳百六拾六年

釀造元　下總銚子町　濱口合名會社　振替貯金口座五〇貳番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大興社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戶市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

人種の改良は刻下の急務たり、忠君愛國の士は

須く此の點に注意し自ら進んで之れを企つるに吝なる勿れ

當協會は體軀の改良に資する目的を以て可驚

發明をなし紳士淑女の爲めに詳細說明したる美麗なる書冊を**無代價**にて贈呈せんとす此の發明に依る身長法は絕對的に**成功を保證す**

如何なる矮小の人、將た年齡の如何を問はず**二吋乃至五吋の身長を伸ばすこと確實なり**

僅かに萬國端書一枚を投ずれば可驚重寶なる書冊は諸君の前に提供せらるべし

輓近科學の進步に伴ふて發明さるもの甚だ多しと雖も米國合衆國ニューヨーク州ローチェスター市ケー、レオ、ミンヂス氏の發明に係る身長術程科學社會を驚嘆せしめたるもの稀なり

ミンヂス氏が矮小なる紳士淑女に對するは尙ほ大妖術者エヂソン氏が電氣學者に對するが如しミンヂス氏は現代に於て最も能く骨格、筋肉、等に關する問題に就き最も詳細なる說述をなしたるの人なり世の紳士淑女諸君は十分なる信用を以てミンヂス氏と通信を交へ可驚發明の利益を享有して可なりミンヂス氏は之れ等の事柄に關して懇切に說明をなすと共に又嚴重に諸君のために秘密を守り如何に親近の友人と雖も被術者の姓名を漏さざる事を誓ふ

ミンヂス氏は今日迄幾百萬の人生に對し身長法を施したるも未だ一回の失敗を招きしことなく極めて良好なる成績を收め居れり當協會は此の尊敬すべき大發明家ミンヂス氏を招聘する爲めに莫大の報酬と經費を拂ひ矮小人類に對し無償にて施術をなし居れば此の施術を受けたる紳士淑女の足跡は地球上何れの國と雖も之れを見ざる處なき有樣なり殊に此の方法は登錄に依りて政府の保護を受け居れる程なれば五十歲未滿の男女は總て二吋より五吋の伸長を得るは確實に保證せらるる處なり現に世界の最高學校に於いて生徒の體格を發達せしむるために此方法を採用せるもの甚だ尠なからず運動は體育上缺く可らざる者にして體軀の健全を希ふものは即ち運動と營養を勗めざるべからずされど體力に伴はざる過度の運動は却つて其健康を害ふことあり、體力を養成せんと欲せば先づ身長を圖らざるべからず世の紳士淑女にして身長を增さんと希ふ諸君は萬國郵便端書一枚を投じ自己の身長、體量、生年月日竝に體質を詳細に認め速に當協會に申込まるべし當協會は身長法を詳述したる（圖解挿入）書冊及び施術の綱要を絕對的無償にて贈呈すべし尙ほ申込者にして希望ある時は此の方法に依りて二吋乃至五吋の身長を增したる**實驗者數萬人の證明及び說明書**を添付するを辭せざるべし效驗は頗る神速にして一週間に「一吋」二ケ月間に「三吋」を增したる實例あり殊に施術に就いては何等の苦痛なく不便なく頗る安全に遂行し得べければ世界何れの國を問はず施術し能はざる廣なし而も友人知己等に感知せらるゝを厭ふ時は當協會は極めて秘密を守り且つ書面の如きも他人に知れざる樣嚴封を以て送附すべし當協會は此の貴重なる書冊**一萬部を限り代價**（郵稅不要）にて贈呈すべければ希望者は速かに申込まるべし若し諸君の知己にして身長術を希望の士ある時は便宜貸與せらるゝも更に差支なし希望者は左記へ宛て申込まるべし

矮少者は恥づる所なきや

矮少者にして普通身長の人と同行せば如斯

通信は總て日本文にてよし

宛名

CARTILAGE COMPANY,
DEPT. 121. C,
Rochester, N.Y.,
U.S.A.

米國ニューヨーク州ロチエスター市
カーチレーヂ會社御中

（所在地）神戶、東京、橫濱、倫敦、紐育

合名會社 東洋廣告取次會社

本社は世界到る處、苟且も新聞雜誌の發行せらるゝ處ならば廣告取扱の貴需に應ず

營業分類　內外廣告取扱部　書籍輸出入販賣部　海外商業仲介部　和英飜譯印刷部　廣告用雜貨輸出入部　意匠考案部

清酒 澤ノ鶴

釀造發賣元 石崎合資會社 東京支店

◉諸大家の實驗證明する天下一の妙藥

清美丸は味甘く香高し之を服用せば男女に限らず不思議にも一日も色白く艶麗しき無病强健の身體となります

○郵券二錢送附次第「清美健康法」を進呈す

（藥價）七日分五十錢◉十五日分壹圓◉卅五日分貳圓

東京麴町區元園町二丁目二番地 清美藥園

振替貯金口座東京三五九五番

最上醬油

カギダイ

於日英博覽會

到る所の酒醬油店に販賣す

下總銚子港 釀造元 鶴屋吉兵衛

賜名譽大賞牌

陸海軍諸官省御用達

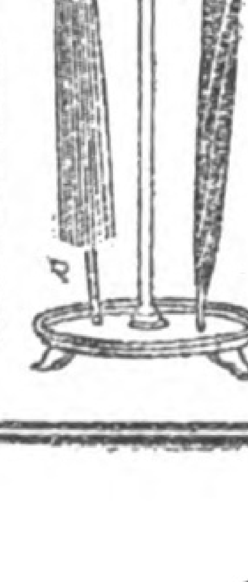
鋼製改良風呂釜
湯屋用改良釜
檜製箱風呂
檜製桶風呂

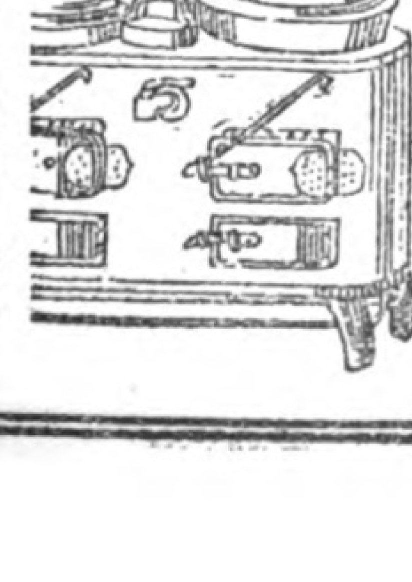
實用輕便傘置臺

此傘臺は鐵製にしてネジ留にて仕込あれば取はづし自在雨傘洋傘ステツキ置晴雨共使用出來極便利なり

總鋼鐵製

五德用竈各種出來あり圖面定價表御入用の方郵券二錢送付あれば進呈す





發賣元 東京日本橋區通油町 浪電一四六一 銅器問屋 石川商店

明治四十三年十一月三日發行（毎月二回一日、十五日）（定價金三錢五厘一ケ月金七錢郵稅不要）（廣告料一行金六拾錢）
發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 竹內貞三
發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所 ●電話番町千七百四十五番 ●同五百二十番
印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所 ●振替貯金口座壹萬三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附録 愛國婦人會記事

本部記事

▲三輪田理事の幹事部總集會臨場 去る十七日長野支部諏訪郡幹事部に於て第一回總會を開き同支部長の申請により桂事務員隨行三輪田理事同會へ臨席せられ同じく十九日無事歸京せられたり。

▲臺灣生蕃討伐隊寄贈慰問袋續報(追加)

金二圓 (追加) 島根支部
金四圓 (同) 宮崎支部
金百三十五圓廿一錢 (同) 滋賀支部
金廿圓七十五錢 (同) 鳥取支部
金十九圓廿五錢 (同) 和歌山支部
金八十九圓七十五錢 (同) 青森支部
金五十七圓廿五錢 (同) 埼玉支部
金百七十圓四十五錢 (同) 新潟支部

▲特別徽章其他贈與

右功績に依り特別徽章贈與(十月六日) 宮城支部長 寺田春子

三等有功章 青森支部三戸郡八戸町 泉山キヤウ子
同 同 泉山サク子
同 同 松原とし子
同 同 近藤ユキ子
同 同 山田もと子
同 同 檜館秀子
同 秋田支部北秋田郡扇田町 長岐タケ子
同 同 明石キイ子
右各金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(十月六日)

三等有功章 兵庫支部幹事 中田孝子
同 同 那波房子
右功績に依り頭書の通り贈與(十月十二日)

扇子一本 山口支部幹事 松井コト子
木杯一個 同 委員 松井唯輔
右功績に依り特別謝狀並頭書の通り贈與(十月十二日)

二等有功章 臺灣支部 佐竹ヨシノ子
同 長倉チヨ子
三等有功章 同 委員 松村儀十郎
同 同 幹事 小畑幾惠子
同 同 山福照子
同 同 同 木浦ヤス子
右功績に依り頭書の通り贈與(十月八日)

同 長野支部(川岸村) 片倉まさ子
同 同(平野村) 林つねよ子
同 同(同) 林よし壽子
同 同(同) 尾澤すみ子
同 同(同) 小口まきゑ子
同 同(同) 小口てるこ子
同 同(永明村) 矢崎はま子
同 同(玉川村) 丸茂きち子
同 同(湊合村) 雨宮白右衛門
同 同(宮川村) 兩角しう子
右各金五十圓寄附に依り三等有功章贈與

長野支部幹事 山中滿子
同 委員 黑澤次是
同 同 武井慶一郎
同 同 小林徹海
同 同 丸山榮臨
同 幹事 小柳きみ子
同 同 武井さち子
同 同 中村みどり子
同 同 高波遜
同 同 小澤明代子
同 同 飯田せい子
同 同 相原さと子
同 同 宮坂もと子
同 同 土橋やすよ子
同 同 山口くに子
同 同 矢島菊代子
同 同 宮坂たも子
同 同 土橋ふみ子
同 同 濱つま子
同 同 武川とよ路子
同 同 矢崎琴じ子
同 同 清水すわ子
同 同 辰野くら子
同 同 小平たよ子
同 同 柳澤けい子
同 同 龜尾すて子
同 同 矢崎いち子
同 同 金子としゑ子
同 同 小口ます子
同 同 丸茂てい子
同 同(中洲村) 伊藤まさ子
同 同(永明村) 伊藤まさ子
同 同 武井いけ子
同 同 山田さい子
同 同 三村久子
同 委員 小林榮運
同 幹事 今井とめよ子
同 同 中村もと子
同 同 小松なか子
同 同 武井まつ子
右各功績に依り三等有功章贈與

扇子一本 長野支部幹事 小林よしき子
同 同 永坂たか子
同 同 小口さき子
同 同 金田みき子
同 同 山田よしの子
同 同 小林一美子
同 同 笹岡つぎ子
同 同 五味ゑい子
木杯一組 同 委員 兩角幾三郎
同 同 笠原友之丞
同 同 鮎澤說然
同 同 宮坂卓從
同 同 木村祐賢
同 同 中條石松
同 同 松井宥掌
同 山中助嶽
同 元幹事部長 長田条子
同 事務員 牛山竹次郎
同 同 西澤睦次
右功勞に依り特別謝狀並頭書の通贈與

扇子一本 長野支部 小口はなの子
右金三十圓寄附に依り特別謝狀並頭書通贈與

長野支部幹事 西澤ため子
同 同 寺皐靜枝子
同 同 隱岐きん子
同 同 守矢ゆた子
同 同 牛山たけ子
同 同 上原きち子
同 委員 宮澤宥往
同 同 宮坂知範
同 幹事 笠原重與
同 同 柿澤わさ子
同 同 今井やす子
同 同 竹内たけ子
同 同 三浦かつよ子
同 同 小池しな子
同 同 水野とき子
同 同 名取まつ子
同 委員 宮澤捨三郎
同 同 小口勘彌
同 元委員 小口小次郎
同 委員 植松金一郎
同 同 矢崎末吉
同 同 伊藤喜太郎
同 同 篠原類造
同 同 牛山七左衛門
同 同 今井治作
同 同 平澤庄五郎
同 同 鎌倉德之丞
同 同 北原清作
同 同 平手多十郎
同 同 名取厚次郎
同 同 樋口長兵衛
同 同 山崎宗重
同 同 小池綱治郎
同 同 岩波喜代太郎
同 同 平林並平
同 同 北澤米重
同 同 小口銀之助
同 元委員 宮澤說音
同 委員 早出和一郎
同 同 小池喜作
同 同 渡邊盛太郎
同 同 井上武一郎
同 同 西澤五郎
同 同 兩角廣太郎
同 同 石原快三
同 同 宮坂鶴彌
同 幹事 伊藤ひろ子
同 同 木村くら子
同 同 有賀きん子
同 同 藤澤もと子
右功勞に依り第一種謝狀贈與(以上十月十七日)

長野支部

▲諏訪郡幹事部總會 長野支部諏訪郡幹事部第一回總會は去る十月十七日、上諏訪町諏訪湖畔、水清く松青き高島公園内に於て開會せられたり。當日本會よりは三輪田理事、桂事務員を隨へて臨場せられ、支部よりは支部長代理副長飯塚千代子、評議員堀田廣子、岩下主事及、長岡事務員其他幹事部役員來會、幹事部よりは幹事部長犬童きの子、同顧問犬童長豐氏を始めとし、其他幹事、委員、會員を併せて參會者無慮二千五百餘人あり、絶好の小春日和とて近郊村落より來會するものも頗る多く非常の盛會を極めたり。今當日總會の式次を擧ぐれば

第一鈴

一 午前十時參會諸員一同式場に整列(此間奏樂)
一 本會理事、長野支部長、評議員、式場に臨場(此間奏樂)
一 幹事部員の示しを待ち一同敬禮
一 幹事部總會の式を擧ぐる事を演ぶ
一 幹事部長最敬禮 總裁宮殿下御寫眞の帳を徹す(一同起立)
一 幹事部長令旨を奉讀する旨を宣告す
一 幹事部長令旨を奉讀す(此間一同最敬禮)
一 幹事部長幹事部役員名簿會員表等を支部長に上呈す
一 會務報告(本務員之れを爲す)
一 理事祝辭
一 支部長祝辭
一 幹事部長式辭
一 幹事部長有功章授與及賞品授與を宣告す
一 本會理事有功章授與
一 顧問祝辭
一 招待員參列員祝辭
一 祝電披露
一 會員總代答辭
一 本會理事遺族並に癈兵慰問の辭(終て支部長より慰問品贈與)
一 遺族並に癈兵總代答辭
一 幹事部員の示を待ちて一同最敬禮終りて幹事部長御寫眞の帳を復す
一 幹事部長式の終りたる旨を宣告す

第二鈴

一 本會理事支部長評議員退場(此間奏樂)
一 幹事部長先導本會並に支部出張員隨從
一 參會諸員順次退場(此間奏樂)
一 午後一時より郡役所樓上に於て茶話會開催(本會理事口演)

右の如くにして、餘興としては西洋手品及煙火等の催あり、茶話會閉會後記念の爲め一同撮影を爲して散會したり。因に式後三輪田理事より軍人遺族並癈兵三百餘名に對し、痛切なる慰問の辭あり次に支部長より夫々慰問品を贈與したる後、遺族及癈兵の總代より答辭を述べたるが、内にも遺族總代井上兵助といふ老人が感極まり涙を垂れて口語らず、唯漸く『難有う御座ります』の一句を眞率に吐瀉したる折の如きは、無數の會衆一同非常の感慨に打たれたるの狀なりき、尚當日の祝、答辭及會務報告、幹事部會員各町村別等を擧ぐれば左の如し。

◎三輪田理事祝辭

愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部は本日を以て第一回總會を開かる、惟ふに當幹事部は會務擴張と整理とに盡瘁せられ其効果として今日あるを致したるは眞佐子等の欣喜に堪へざる所なり、將來本會の發展と共に經營企畫すべきこと猶鮮少ならず隨て諸氏の努力に待つところ益々多からん、茲に開會に際し一言所思を陳して祝詞となす。

◎大山支部長祝詞

時維れ秋漸く深く天高馬肥ゆるの好季節に際し本部幹事部第一回會員總會を開催せられ茲に親しく諸姉と相見ゆるは中心欣喜に堪へざる處なり、夫れ本部は逐年會員増加し女子人口五萬餘人に對し今や其數實に二千八百餘人に達し優に百中五、五を示すに至り長野支部幹事部中最上位を占むるの成績を示せり是れ幹事部長顧問及職員各位の熱誠に依るは勿論なりと雖も亦會員諸姉が夙に奉公の志厚き致すところたらずんば非ざるなり而して此事獨り本會の爲めのみならず復た國家の爲めに喜悅に堪へざるところなり本會の目的たる前途尚遼遠なり職員各位並會員諸姉冀くば益々協力一致本會の爲め努力せられ克く有終の美果を收められんことを、茲に本日の盛典を祝し併せて當幹事部の益々隆昌を祈る。

◎犬童幹事部長式辭

愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部は著しく會員の數を増し會務年を逐ふて發展し本日三輪田理事殿及大山支部長殿の御來場を仰ぎ茲に第一回總會を開くの盛運に至れるは誠に會員一同の喜びに堪へざる所なり、今より一層努め勵みて本會の發達を計り以て忠愛慈善の趣旨を完ふせんことを期す、聊か一言を述べて式辭とす。

◎會員總代答辭(小澤明代子)

愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部第一回會員總會を開會するに當り本會より三輪田眞佐子殿、長野支部長殿の臨席を辱ふし懇篤なる訓示を與へらる詢に本部會員の感激に堪へざる所なり。本部は夙に本會の主旨を協贊するもの多く今や會員は總數二千八百四十一名に達するの盛況を呈せり是獨り本會の爲めのみにあらず復國家の爲めに喜悅に堪へざるところなり吾々會員は今後倍々益々奮勵協力以て會員の增加を圖り同時に事業の發展に努め御訓示に副はん事を期す、謹で答辭とす。

◎癈兵總代答辭(北原朝治)

愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部第一回會員總會を開催せらるゝに當り不肖が往時戰役に從ひ癈疾の身となりたるを深く同情あらせられ茲に招待の光榮に浴し感激の至りに不堪、加之本會理事殿より懇篤なる慰問の辭を辱ふす生等の面目之れに不過、茲に癈兵一同に代り謹で謝意を表す

◎會務報告(牛山事務員)

明治四拾三年十月十七日愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部第一回會員總會を行ふに方り會務の成績を報告する左の如し

一 明治三十五年十一月故奥村女史本會主旨唱導の爲め來諏せられ上諏訪町下諏訪町に於て講話會を開き當時郡長は本會の主旨を協贊し篤志者又相率て能く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

關女史の說かれたり而して本會の主旨を贊し同年中特別會員十二人通常會員百七十四人贊助會員二人計二百十八人を得るに至れり次で明治卅六年末には會員總數四百十五人に達し明治卅七年日露開戰に際し當部事業は其主旨たる戰死病死者の遺族及癈兵の慰藉を遂行するに當り資金の充實を圖らんが爲め會員增募會費の收集に力め各町村熱誠なる會員諸氏に幹事を囑託し郡內各町村長及其他忠誠なるの諸氏に委員を囑託せり幹事部員擧げて專ら會員勸誘と出征軍人家族、に戰病死者遺族の慰問に奮鬪せらる而して三十七年末には會員總數一千四十三人に上り長野支部各郡市幹事部會員表中の第一位を占むるに至れり三十八年に至り幹事部の活動は一層其數誠な表示し會員總數千〇五拾八人を算するに至る明治四十年九月八日長野支部聯合會を會な長野市に開會せらるゝに當りては幹事部は一層の獎勵を以て會員增募に努め其募集會員五百餘名の計會員數壹千六百九十六人に上り爾後益々會務擴張し本年九月末日現在會員千八百四名なり

一本日諏訪郡幹事部第一回會員總會を開くに際し偶有功章を授與せらるゝもの五十二名特別會員に囑託せしもの五十五名通常會員に囑託せしもの九百八十二名合計會員總數一千卅七名に達せり今本部の現住女子總數五萬千四百十二人にして會員一人に對する人口歩合實に五人五分強に當れり即ち會員現在表別表の如し

一會費徵集の整理も亦會員增募と共に良好の經過を以て進行し徹して徵集期に於て納了す

又當日有功章及謝狀を授與されたる人名は本部記事中に記載されたる如くなるが尙

林　市十　　片倉さと子
牛山彌十　　渡邊豐治
笠原房吉　　鎌倉德之丞
立木虎硯　　五味作平
中洲村愛工婦人會

等に對しては支部長より謝狀を發せられ

愛國婦人會長野支部諏訪郡幹事部會員各町村別統計表

（明治四十三年十月十六日現在）

町村名	義務終了者 特別會員	義務終了者 通常會員	義務未了者 特別會員	義務未了者 通常會員	計	贊助員 七圓以上	贊助員 七圓以下
川岸村	六	一四	四	五五	七九		三
平野村	二〇	四六	一五	一九七	二七八		二
長地村	一	七	四	五七	六九		一
下諏訪町	八	七	一九	一八〇	二一四	一	三六
上諏訪町	二八	五六	三四	三一二	四三二	一	四四
四賀村	一	二	一三	五八	七四	一	一六
永明村	二	一九	六	一一五	一四二		四
米澤村		六	二	四八	五六	三	四
北山村	一	三	六	七七	八七		九
湖東村		七	三	八四	九四	一	二九
豐平村	二	一六	五	八一	一〇四		三
玉川村	五	九	六	一一一	一三一	一	一一
泉野村		一九		二三	四二		四
原村		一	五	一一〇	一一六		一
本鄕村		九		五一	六〇		六
境村		六	一	三六	四三	三	
落合村	一	二		二七	三〇		二
富士見村	一	一二	二	七四	八八	一	一
金澤村		三	二	五八	六三		一
宮川村	四	三〇	四	一三七	一七五	一	一
中洲村	二	二四	八	一一三	一四七		六
湖南村	一	二六	五	六五	九七		一
豐田村	二	二一	五	一四七	一七五	一	二七
湊村	二	五	一	三六	四〇		四
合計	八七	三五〇	一五〇	二、二五二	二、八四一	一四	二〇七

備考

佩有功章者
上諏訪町　寺島靜江子
宮川村　隱岐きん子
豐田村　宮坂知能
上諏訪町　大實長豐
下諏訪町　西澤ため子
玉川村　上原きち子
永明村　宮坂寄佳
同　大實さの子
豐田村　牛山たけ子
湖東村　土橋はるみ子
（米澤村　五味作平）
中洲村　守矢ゆた子
（下諏訪町山田たけ子）

たり。

靜岡支部

▲遺族接待　通信員所報

十月十日午前九時本縣共祭招魂祭擧行に際し當支部よりは遺族へ配贈の爲め菓子七百箱及遺族休憩所餘興として浪花節三桝家一僕一坐を寄贈し石原支部長、評議員、田中主事、事務員出席、靜岡市幹事部よりは長島幹事部長、幹事、事務員等出張して供物菓子の分配、配茶、案內等に斡旋して專ら遺族の優遇に力めて午後二時退散せり。

因に當日參拜せる數百の遺族は孰れも世人より同情を寄せらるべき可憐の境遇にある者にして悲哀の話題となるべき事項枚擧に遑あらず。今其の一二を記さんに、

當日遺族休憩所に於て質朴なる一老爺あり、兩眼に淚を湛へて語るらく、余は日露の戰役に於て愛兒二人を失ひ悲嘆にくれたれども、四隣の人々に慰められ漸く應分の勇を鼓し朝夕農事に勤勞せり、而して干戈治まりて厚き恩賞に浴し、加ふるに子供等は鎭國の神となり　天恩の渥きに因りて老軀も不自由なきを得たり今日しも盛大なる此の祭典に臨み心より之を靈前に告げたり。又斯の如き供物や御菓子を戴き、剩へ貴婦人方の御同情に依り優遇せらるゝは痛く肺肝に銘ずる處にして感荷の至りなり。折角餘興の靜聽を御勸め下さるゝは忝なけれど今年は子供等が戰死の七週年に相當せるを以て、是れより位牌の彫刻を依賴し、歸宅の急がるゝを以て御暇致すべしとて低頭謝辭を述べぬ。斡旋せる役員其他之を耳にする者孰れも同情の淚に袖を沾はし歔欷の聲を袂に包みて懇ろに慰藉したり。

又禮拜式擧行の際に於て、三十七八歲の妻女は十歲許りの頑是なき少女の手を曳き白髮の老母を伴ひ、忝しく社殿に額きて玉串を捧げ、後ち拜殿の四方に揭げある戰死者の肖像を見廻し、漸く左より三枚目に眼を留め、妻女は老母と少女に指示して共に面を上げ得ず、早や兩眼を沾されたり、漸く少女と老母とを促して拜殿を退かんとするも、老母は獨り立去らず、名殘を惜む樣のいと哀れにて、泣居る文武高等官の中には同情の淚に手巾を沾す者、首を垂れたる者あり、婦人席にては涕流嗚咽の聲を洩らす者ありき。此時彼の妻女は老母を勸め强ひて伴ひ退出せり。是れ去る三十七八年奉天の戰役に於て名譽の戰死を遂げたる、故步兵中尉熊澤民藏氏の未亡人、母堂及遺子にして、之を目擊したる當時の戰友某は、式後同遺族を拜殿に導き、故中尉の肖像に對せしめ厚く慰藉に力められたり。

終りに當り本會員に對し赤誠會務の發展を計り、以て遺族の慰安に勗められん事を熱望す。

▲水害罹災者慰問

當支部榛原郡幹事部に於ては軍人遺族癈兵中生活困難なる者にして本年八月縣下大洪水の際被害者慰問及實況視察の爲稻見幹事部長は各町村に出張、親しく毎戶を慰問し救護金を授與したるが孰れも本會の趣旨に感激し辭を盡して拜謝し言々句々心肝より出づるの感ありたり。

熊本支部

▲支部例會

愛國婦人會熊本支部は豫報の通り去る十八日午後一時より赤十字社熊本支部に於て例會を開催せしが當日の出席者は講師には竹下本縣技師及南木大衆師の兩氏支部よりは河內山主事大野宮村谷口川島の事務員會員には川路支部長を始め幹事以下三十有餘名にして定刻となるや河內山主事先づ開會を報じ續て會務の報告をなし次に竹下本縣技師は目下專ら民間に於て發賣する處の仁煙と稱する點火を要せずして發煙する人造蚊燻草の實物を示し化學上の實驗をなして其の有害なる證據を擧げ南木大衆師は宗教上に於ける各自の信念に關する最も有益なる講話をなし終つて午後四時散會せり。

鹿兒島支部

▲日置郡伊作村總會

當支部日置郡伊作村に於ては十月二日第壹回愛國婦人會總會並村婦人會總會を開けり、坂本支部長は評議員佐々木米子、主事市來正幹を隨へて出張臨場され、幹事部よりは顧問事務員等出席し參會者千四百名あり、式は君ヶ代の奏樂に始り三十七八年戰役に關し御下賜の令旨捧讀次に支部長の告辭、幹事部顧問の祝辭並主事の祝辭に併せて本會の趣旨及現況に就ての演說あり遺族癈兵を招待して之を優遇し贈與金を授與し菓子等を饗したるに皆感善に堪へざるもの〻如く一般會衆にも大に感動を與へたり餘興には白虎隊の活人畫等ありて盛會なりき

愛媛支部

▲宇摩郡幹事部の活動

愛媛支部內宇摩郡幹事部に於ては去月來幹事部長齋藤繁子同部職員を同道し遺族癈兵の各戶につき親しく慰問し家計の狀況等詳細聞取り慰藉に努められたるが其の序次を擧ぐれば、

●本月二日　齋藤幹事部長、事務員八谷大鱗隨行、二名（遺族一戶）、川ノ江町（遺族二十二名、癈兵三戶）慰問、●同月五日、齋藤幹事部長　幹事前谷アサ子、八谷事務員隨行、三島町（遺族十六戶、癈兵六戶）慰問、●慰問品として、三越吳服店へ別誂へ手拭一筋宛を贈呈す。右の外幹事部內各町村へ出張の筈なるが日取は未定なり。

●又目下滿洲及臺灣守備兵にして本郡の出身者に對し慰問品として同じく三越吳服店へ別誂の手拭一筋宛に慰問狀を添へ第十一師團を經て送附したり。

北海道支部

▲根室委員部總會

十月二日根室委員部第二回總會を北斗小學校內にて開催したり。當日出席の會員百十名（支部よりは差掛り便船等無く時に合ひ兼遺憾ながら職員列席せざりき）小野委員開會の辭を述べ、次で君ヶ代の三唱、同委員　總裁殿下御眞影開扉一同最敬禮、次に令旨捧讀、事務報告、終て根室幹事部安食顧問支部長祝辭代讀幹事部長、同顧問の祝辭演說、小野委員の挨拶等ありて御眞影を閉扉し、之れにて式を終り、餘興數番ありて一同退散したるは午後四時にして近來稀なる盛會なりき。

●正誤。　前號本記事神奈川支部の項中生業補助金百五十二圓六錢とあるは四百五十二圓六錢の誤植、又岐阜支部項中宮城支部の文字あるは岐阜支部の誤植靜岡支部項中田中幹事とあるは田中主事の誤に付き右正誤す。

愛國婦人第二百十二號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN